

2017 年度  
経済学部  
第 1 回入ゼミ説明会

慶應義塾大学  
経済学部ゼミナール委員会

2016年7月2日（土） 日吉キャンパス



Keio University



# 2017 年度 慶應義塾大学経済学部 第 1 回入ゼミ説明会

## 目次

p.2	慶應義塾大学 経済学部 学習指導主任 挨拶
p.3	経済学部ゼミナール委員会 委員長 挨拶
p.4	全塾ゼミナール委員会 委員長 挨拶
p.5.6	研究会(ゼミナール)とは
p.7.8	経済学部ゼミナール委員会とは
p.9	ゼミ選びにおける三田祭の活用方法
p.10-13	全塾ゼミナール委員会とは(他学部入ゼミについて)
p.14.15	分野別研究会総覧
p.16-51	各研究会紹介
p.52	個別ブース教室割一覧表

# 第1回ゼミ説明会に寄せて

経済学部学習指導主任 川俣雅弘

経済学部のカリキュラムには、講義形式の授業の他に研究会、PCP、研究プロジェクトといった少人数双方向型授業があります。個々の講義で提供されるのは、主に、それぞれの学問分野において今までの研究によって解明され、蓄積されてきたストックとしての知識です。他方、社会が皆さんに期待しているのは、そうした既存の知識を役立てることはもちろん、皆さんが社会生活において遭遇するさまざまな未解決問題に適切に対処する能力です。また、そうした個々の未解決問題を解決することにより、新しいフローの知識が生産され、蓄積されて、ストックとしての知識を形成します。

この未解決問題からフローの知識を生み出す知的作業が研究で、研究会では経済問題について研究するための手続きを勉強します。はじめは、基礎的な知識と分析方法を学び、既存の主要な研究をフォローし、それらの研究手法をマスターしたうえで、新しい問題に挑戦します。そして、その成果が三田祭論文や卒業論文となります。

社会科学には決定的な正解がないことがよくあります。その場合、自分の考え方の妥当性を説明して他の人を説得すること、グループで建設的な議論を行うことなどが必要になります。研究会では、これらの知的作業を通して、グループで共同研究をしたり、研究成果を発表したり、それについて指導教授や研究仲間と議論を交わして理解を深めたり、貴重な経験をすることになります。それらを通して形成される研究会の人間関係は、皆さんの人生において大切なものになるでしょう。ぜひ、研究会を履修して、三田での充実した大学生活を送ってください。

ところで、研究会で研究活動を行うためには、しっかりした動機とそれなりの学力が必要です。また、研究会に所属すれば、基本的に、研究会における活動が大学生活のすべてに優先されることとなります。自分の大学生活全体のバランスを考慮して自分に合った研究会を選択してください。経済学の研究は、分野やテーマは何か、そのテーマの研究に有効な分析手法は何か、などによって特徴づけられます。まず、日吉でいろいろなことを勉強してください。経済学にはどのような専門分野があるか、研究会担当教員の専門は何か、それらの分野ではどのような分析方法が用いられているかは、研究会を選ぶうえで有効な情報です。そして、ある程度真剣に勉強してみることで、自分自身のこともわかります。どんな問題に関心があるのか、その問題解決に必要なアプローチに適性があるのかを知ることが大切です。

第1回目ゼミ説明会では、今後ゼミの選択までに収集すべき情報、入ゼミのために準備すべきことなどについて手がかりをつかんでください。経済学部には国内外で活躍している多数の研究会担当者があり、幅広く充実した選択肢があります。最適な選択ができるよう、しっかり準備してください。

# 経済学部ゼミナール委員会委員長より

経済学部ゼミナール委員長

経済学部 金子勝研究会

経済学部3年 杉山卓人

梅雨も明けて7月に入り、世間ではいよいよ夏本番という機運が高まっている一方で、2年生の塾生諸君は春学期末が近づいてきて、そろそろ勉強しなければと思っている人も中にはいるのかもしれませんが。皆さんの日吉での生活も2年目を迎え、学業、各種団体での活動、アルバイトなどに日々邁進していることと思います。意外と大学生生活の1年間は早いと感じている人もいるのではないのでしょうか。来年度にはほとんどの皆さんが日吉から三田へとキャンパスを移しますが、3年生になると夏には周りがインターンに行き始め、冬には就活準備が始まり、4年生にもなればほとんどが就職活動で終わってしまいます。慶應で純粋に大学生生活を楽しむ期間は皆さんが想像している以上に短いかもしれません。

そんな慌ただしい三田での生活の中心となってくるのが「ゼミ」です。「ゼミ」は日吉で学んだ基礎的な知識をより深く専門的に研究する、少人数制の単位認定されているカリキュラムです。自分の将来のために新たな知識を会得するのは勿論、新しいコミュニティ形成の場としても、「ゼミ」は三田での新生活とともに新たな刺激を与えてくれることでしょう。

経済学部には現在68個ものゼミがあり、昨年度はA,B,C日程合わせて約900人が入ゼミしました。ただし、慶應経済のゼミ選考は他の学部や大学と比べて厳しいことで有名で、面接や試験など様々な選考方法があるため、たとえ成績が良くても、ゼミの選び方によっては最終的にどのゼミにも所属しない所謂“ノンゼミ”の方々が出てしまったりしているのが現状です。勿論「ゼミ」に入らずとも三田での生活を楽しむことは十分可能だとは思いますが、もし自分の望む「ゼミ」への入ゼミを希望するならば、早い時期から様々な情報を把握し、そのゼミの求める人材になる努力をすることが重要です。今回の第一回入ゼミ説明会では色々なゼミを回ってみると良いと思います。興味のある分野のゼミを全て回って見るもよし、先輩がいるゼミを片っ端から見ただけでもよし。とにかく色々なゼミを自分の目で確かめてみてください。入ゼミを主に行う3年生も4ヶ月前までは皆さんと同じく入ゼミする側だったわけですから、聞けば色々な情報を教えてくれることでしょう。

入ゼミ説明会を上手く活用して自らの三田ライフを実りあるものにできますよう経済学部ゼミナール委員会一同心より願っております。分からないことや困ったことがありましたら全力でサポートさせていただきますのでどうぞお気軽にお声掛けください。

以上で委員長挨拶とさせていただきます。

## 全塾ゼミナール委員会委員長より

全塾ゼミナール委員会委員長  
商学部 井口知栄研究会  
商学部3年 八木 洋樹

皆さんが慶應義塾大学へ入学して、早くも二度目の夏を迎えようとしています。日吉での生活にも慣れ、それぞれが学業だけではなく、部活、サークル、アルバイト等で充実した日々を過ごしているのではないのでしょうか。そのような学生生活のなかで、自分の将来ありたい姿や、三田での生活について考える機会もあったと思います。そして、「どのゼミに所属しようか、そもそもゼミとは何なのか？」という疑問を抱いている皆さんも多いのではないのでしょうか。

ゼミについて考えるにあたって、二年生の皆さんに考えていただきたいことがあります。それは、「限られた時間のなかで、自分自身が何をどのように選択し、意思決定していくのか？」ということです。中学校や高校までとは異なり、大学では各自の責任の上で、自分自身の生活に裁量を持たせることができます。自由である反面、自分自身の選択に対して責任をとってくれる人は少なく、大変な面も多いことでしょう。

では、残された大学生活において、どこでどのようなことができるのでしょうか。大学設置の研究所、部活、サークル、ダブルスクール、長期でのインターン、アルバイト等様々な選択肢が与えられています。研究会(ゼミ)もその一つです。

各学部のゼミナール委員会では、各学部の研究会情報を中心に、皆さん自身の意思決定の判断材料となる情報を提供していきます。そして、私達全塾ゼミナール委員会では、皆さんが夢中になって全力で取り組むことのできる最高の環境を選択することができるように、学部の壁を越えた研究会選びをもサポートしていきます。他学部のコミュニティに飛び込むことへの不安もあるかと思いますが、他学部の研究会に興味のある方は、全塾ゼミナール委員にお気軽にご相談ください。具体例も交えた詳しい話をお聞かせできます。

全塾ゼミナール委員一同、皆さんがベストな環境で残りの二年間を過ごすことができるよう、誠心誠意お手伝いをさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

# 研究会（ゼミナール）とは

これから2年生の皆さんが志望を検討する「研究会」（ゼミナール）は、担当の教授の下で2年間に渡り専門的な研究、学習を行う三田ならではの専門教育課程です。慶應義塾大学経済学部のカリキュラムの中では研究プロジェクトやPCP、少人数セミナーと並び、少人数制の特色ある教育として挙げられています。また三田での生活は日吉での生活とは多少趣が変わり、ゼミナール活動が学習と生活の中心となるという学生が多くなるのも特徴です。この冊子をよく読み、ゼミ選びの参考としてください。以下は研究会（ゼミナール）の特徴となります。

## 1. 少人数制であり、選考試験がある

各研究会には定員数が設けられており、授業は少人数制です。学生同士、そして学生と教授の距離が近いことが特徴だと言えます。研究会は必修科目ではなく、また少人数制で履修生に限りがあるため、入会に際し選考試験があります。入ゼミ説明会の個別ブースなどで情報を収集し、準備はしっかりと行うように心がけてください。

## 2. 分野に特化しており、2年間に渡り履修をする

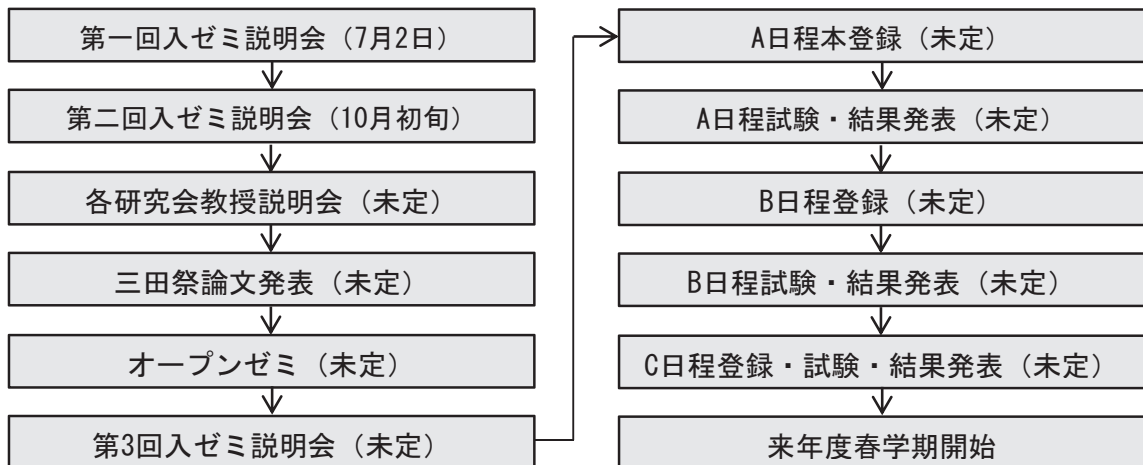
各研究会にはそれぞれ専攻分野があり、自分の興味や関心のある内容をより深く学ぶことが可能です。基本的に2年連続で同じ研究会に所属・履修し、第3学年末に4単位、第4学年末に8単位を取得することになります。研究会必修科目ではなく、三田で履修することができる「専門教育科目」の中の「特殊科目」にあたる専門科目となります。

## 3. 4・5限にある研究会が多く、その時間の多講義が少ない

研究会の特徴からは少し離れますが、三田での生活についてです。三田の時間割を見たことがある方はさほど多くはないかと思います。三田で履修する科目のほとんどが日吉で学んだ経済学をさらに発展させた内容となる「専門教育科目」となります。その専門教育科目の講義型科目を担当している教員の方々が研究会を受け持っています。その研究会が4・5限に集中しているため、三田の通常講義の時間は1限から3限に非常に集中しています。ゼミによっては個別ゼミ必修科目を設けている場合がある為、自然と研究会中心の生活になる学生が多いようです。

## ☑ 入ゼミスケジュール予定（参考）

\* 詳細な入ゼミスケジュールは当冊子作成段階では未定となっています。判明次第Webで発表します。



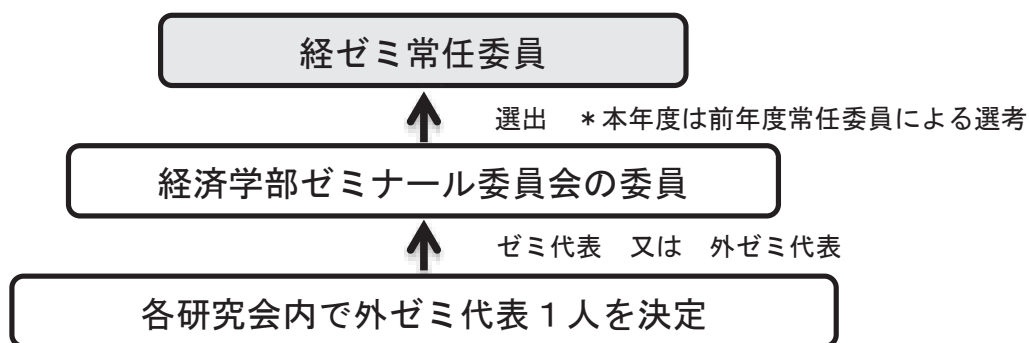


# 経済学部ゼミナール委員会とは

経済学部ゼミナール委員会（略称：経ゼミ）は、慶應義塾大学経済学部設置されている各研究会より1名ずつ選任されたゼミ代表を委員として構成される委員会です。慶應義塾大学の「上部団体・福利厚生等団体」に所属する団体となります。経済学部のゼミナールに所属している学生は1学年あたり約1000人弱います。この多くの人数を抱えた経済学部の各研究会間の親睦を図り、諸問題を解決し、入ゼミや三田祭論文発表などの各種企画行事を開催しています。そして経済学部から慶應義塾の興隆に寄与することをその目的としています。入ゼミは単位に関わるものでもあり、学事センターが管理していると思われがちですが、説明会や試験も学生の代表である経ゼミが学事や教授と協力の下、運営管理している点が特徴です。

## ☑ 経済学部ゼミナール委員会 構成

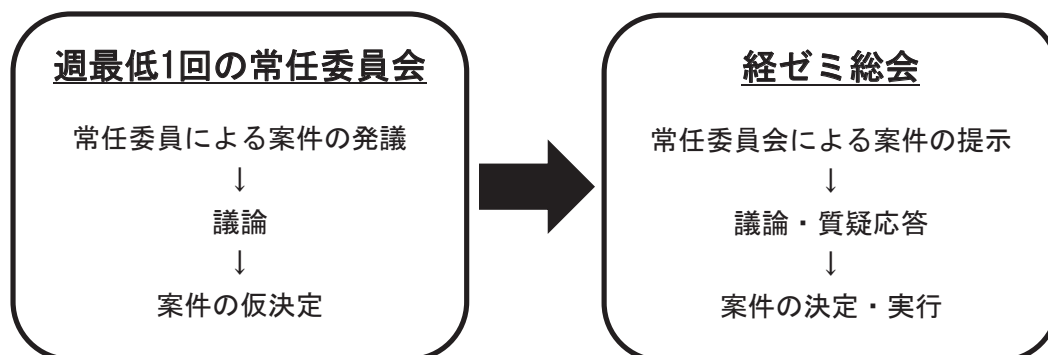
- ・会長 : 川俣 雅弘教授
- ・構成員 : 経済学部各研究会からの代表者
- ・常任委員 : 構成員の中から選出された15名



## ☑ 経済学部ゼミナール委員会 目的・意義

- ・経済学部として慶應義塾大学の興隆に寄与する。
- ・経済学部の研究会相互間の親睦を図る。
- ・月1回、全構成員による総会を開く。
- ・週1回、常任委員による常任委員会を開く。

## ☑ 経ゼミ総会と常任委員会の現在の関係

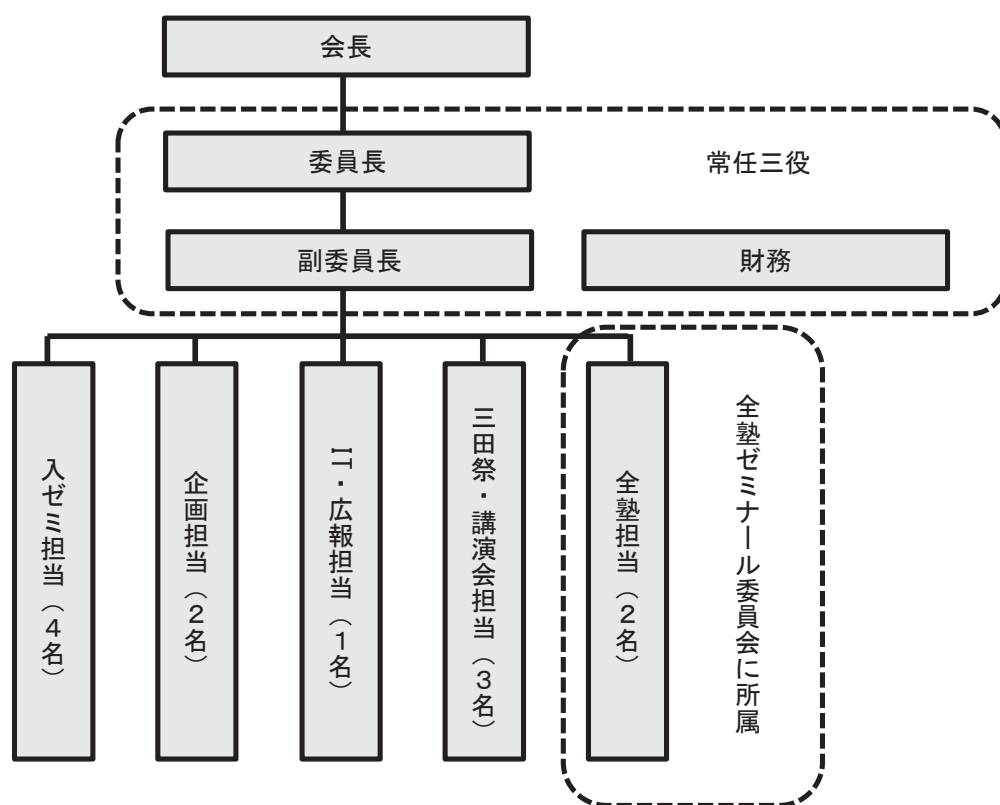


## ☑ 経ゼミは何をしているのか

- ・入ゼミの運営、開催（説明会の実施、資料作成、オープンゼミなどの実施、試験の管理）
- ・各研究会の三田祭における論文発表の場所確保、運営
- ・ゼミ内ゼミ間親睦の為のソフトボール大会など企画の運営
- ・各種講演会の企画、運営
- ・研究会活動の促進の為の問題提議と解決

## ☑ 経ゼミ常任委員とは

各研究会の外ゼミ代表より組織される経済学部ゼミナール委員会の委員から、それぞれの役職を持った常任15名が選出されます。それぞれの担当が経ゼミ内の企画の仕事に責任を持ち、活動しています。伝統を守り、数多くのルーティンワークをこなしながら新しい企画の導入も検討し、現状の活動に問題がないかを常に考えていく姿勢が求められます。



経ゼミの常任委員になりたいという方は、まずは各ゼミの外ゼミ代表を目指してください。

経済学部ゼミナール委員会ではウェブサイトでの告知を強化しています。

入ゼミ関連情報を掲載中です。

経済学部ゼミナール委員会ウェブサイト：<http://keizemi-keio.com/>

経済学部ゼミナール委員会Twitter：[@keizemi2016](https://twitter.com/keizemi2016)

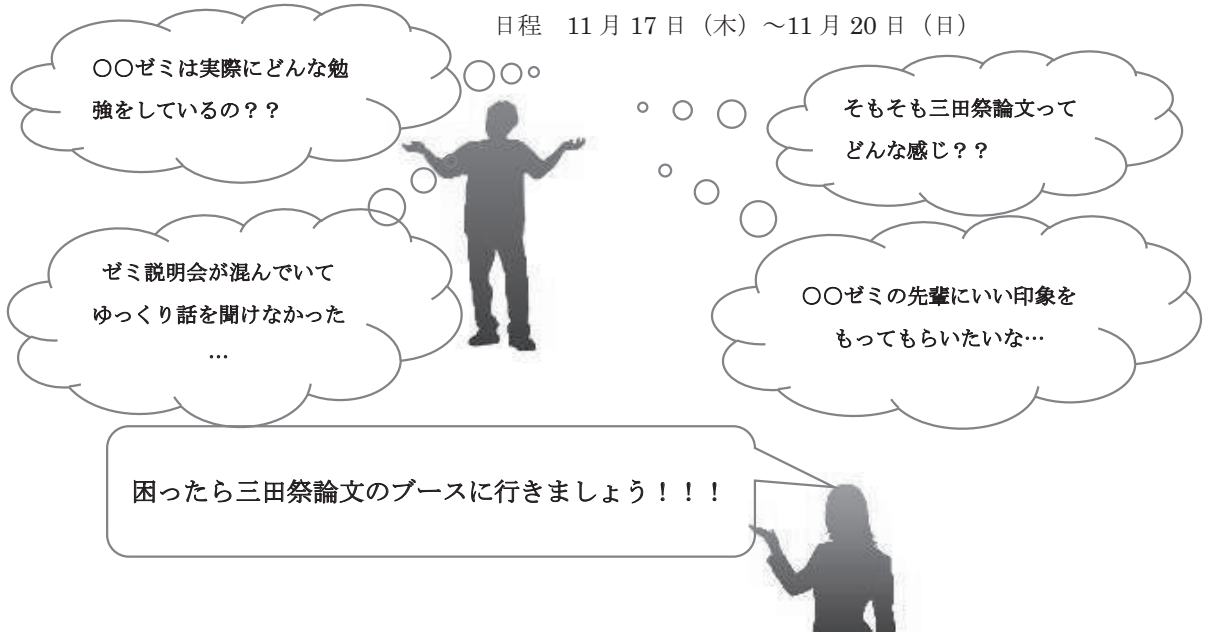
経ゼミに興味がある方、質問等は経ゼミブースへ

また、入ゼミに関するお問い合わせ等は、[keioecon.nyuzemi2016@gmail.com](mailto:keioecon.nyuzemi2016@gmail.com)まで

## ゼミ選びにおける三田祭の活用方法

研究会に入りたい2年生の方へ 三田祭論文のブースを上手く活用しよう！！

日程 11月17日(木)～11月20日(日)



### ※三田祭論文とは?

各研究会が研究を進め、三田祭で論文を発表することです。また、三田祭論文コンクールとは慶應義塾大学内で最大規模かつ、多くの研究会が一堂に会し論文を発表する貴重な場でもあります。

### ※各研究会のブースに行くと・・・

- ・自分の行きたい研究会が実際にどのような勉強をしているのか知ることができる!
- ・常に研究会員がブースに待機しているので説明会以上に詳しい話をゆっくり聞くことができる!
- ・活動内容を掲示しているゼミが多くあるので、実際に活動の内容を知ることができる!

### 経済学部 三田祭論文コンクール

各研究会の三田祭論文について助教授に査定していただき、金賞・銀賞・銅賞を優秀な論文を残したゼミに与えるコンクールです。ゼミ選びの一つの指標として参考にしてください。(2015年度資料)

- ・金賞 石橋孝次研究会 国内航空市場の経済分析 -LCC 参入が利用者便益と競争形態に与える影響-
- 星野崇宏研究会 階層ベイズ条件付きプロビットモデルによる消費者選択行動の解析  
-個票データとマルチソースの時系列データを統合して-
- ・銀賞 玉田康成研究会 投資信託を当たり前に -これからの日本を見据えて-
- 飯田恭研究会 16～19 世紀における有機肥料供給システムの推移 -農地改良の日欧比較史-
- ・銅賞 河端瑞貴研究会 避難所アクセシビリティを利用した越境避難の有効性
- 駒形哲哉研究会 日系中小製造業の中国における持続的発展 -中国拠点における人材の重要性-

# 全塾ゼミナール委員会

## 【委員会構成】

全塾ゼミナール委員会は慶應義塾大学の公認団体であり、200 余りのゼミから成る各学部のゼミナール委員会を統括し研究会活動に関する学生自治を任されています。当委員会は、下記の 6 つのゼミナール委員会からそれぞれ選出された 10 名により運営されています。

経済学部・商学部・法学部法律学科・法学部政治学科(各 2 名)

文学部人文社会学科社会学専攻・文学部人文社会学科人間科学専攻(各 1 名)

## 【意義】

本会は、各委員会に所属する研究会生の学術的活動並びに友好的交流支援により他学部他学科間の相互理解・相互連携を通して慶應義塾大学のアカデミズムの興隆に寄与することを目的とする。

(全塾ゼミナール委員会規約第 1 章第 1 条より)

## 【主な活動内容】

### 他学部入ゼミ支援

6 月中旬より、2 年生に対して各学部で入ゼミ説明会が行われます。学生は基本的に所属する学部のゼミに入会しますが、一部他学部生の入ゼミを受け入れているゼミがあります。そこで、学部を超えてのゼミの情報収集の負担を軽減すべく、全塾ゼミナール委員会が情報提供をサポートします。具体的には各学部の入ゼミ説明会でブースを出展、他学部入ゼミ説明会の開催、他学部入ゼミ冊子の作成、Twitter、Facebook ページ、ホームページを通じて支援いたします。

### 業界講演会

塾生の皆さまが将来の進路を決定する際の一助となれるよう、多岐に渡る業界で活躍する OBOG の方々の講演を、企画・運営しております。毎年秋学期に開催しており、本年度も皆様からアンケートに基づき講演会の企画を進めております。

### 全塾ソフトボール大会

毎年、各学部でソフトボール大会が行われます。上位に残ったゼミが、学部を超えて対戦するのが全塾ソフトボール大会です。この大会の企画運営を行います。本年度も 6 月中旬に実施予定です。

- ・全塾 HP : <http://www.zenjuku-seminar.com>
- ・Twitter : @zenjuku\_keio(全塾ゼミナール委員会)  
@zenjuku\_nyuzemi(全塾ゼミナール委員会 他学部入ゼミ)
- ・Facebook : <https://www.facebook.com/zenjuku.nyuzemi/>
- ・問い合わせ : [zenjuku.seminar.nyuzemi2016@gmail.com](mailto:zenjuku.seminar.nyuzemi2016@gmail.com)

## 他学部入ゼミについて

全塾ゼミナール委員会では、学部を超えて他学部のゼミで学びたいという意欲的な方を応援しています。下記に各学部の入ゼミの簡単な予定とFAQを載せておきますので、興味のある学部の説明会に足を運んでみてください。詳細は全塾HPに随時掲載致します。

	文学部 人間科 学	文学部 社会学	経済学 部	法学部 法律学科	法学部 政治学 科	商学部	他学部 入ゼミ
第一回 説明 会	7月11 日	6月23 日	7月2 日	7月6日	6月24 日	6月25 日	7月9 日
第二回 説明会	11月下 旬	11月 1週目	10月初 旬	9月28日	10月 2週目	10月中 旬	11月上 旬
第三回 説明 会	なし	なし	1月中 旬	10月5日10月 7日	なし	1月中 旬	三田祭
試験	1月下 旬	12月初 旬	3月初 旬	11月下旬	2月初 旬	3月中 旬	—

\* 上記は現段階で各学部ゼミナール委員会が発表しているものであり、今後日程が変わる場合があります。詳しくは、各学部ゼミナール委員会のHP等で日程をご確認ください。

### FAQ

#### Q.他学部のゼミに所属することはできるのでしょうか？

A. 入会したいゼミが他学部生を受け入れており、入会課題や面接などを受け、入会を認められた場合、他学部のゼミに所属することが出来ます。他学部入ゼミは基礎学力の違い、単位上の問題などある程度リスクを伴うものです。しかし、全塾ゼミナール委員会は他学部のゼミを志望する学生に情報提供し、サポートを行っていきたいと思いますので、どんな些細なことでもお気軽にお尋ねください。

#### Q.全塾ゼミナール委員会ではすべての学部・学科のゼミに関して相談に乗ってもらえるのですか？

A. 当委員会は、慶應義塾大学の三田キャンパスに所属する6つのゼミナール委員会（経済学部、商学部、文学部人文社会学科社会学専攻、文学部人文社会学科人間科学専攻、法学部法律学科、法学部政治学科の各ゼミナール委員会）から2人ずつ（文学部は1人ずつ）選出され、計10人で組織されています。そのため、上記以外の学部・学科については情報を提供できません。湘南藤沢キャンパス(SFC)、理工学部、医学部はもちろんですが、文学部教育・心理・美術その他専攻もこれに当たります。これらのゼミに興味のある方は直接そのゼミに連絡をとっていただくことになります。

**Q.自分の所属している学部のゼミと他学部のゼミの両方に所属することは可能ですか？**

**A.** 可能です。ただし、2つのゼミを受験され両方入会を許可された場合、片方を辞退するという行為は極めて失礼にあたるため、必ず両方に所属し、全うしていただくようお願いいたします。ゼミの活動は、予想以上に内容の濃いものです。時間的拘束など、複数のゼミに所属するメリット、デメリットの両方を熟考の上、後悔しないゼミ選びをして下さい。



君が学びたいものは何だ。

# 第一回他学部入ゼミ説明会

7月9日(土) 13:00～16:00

日吉キャンパス 第4校舎

他学部経験者による講演

履修単位・志望動機等の経験談

各学部入ゼミ説明会について

既に終了した説明会内容が聞けるチャンス

個別相談ブース

各学部ゼミナール委員会・他学部入ゼミ経験者との交流

他学部入ゼミ案内冊子の配布

参加者限定配布！

※教室決定次第Twitterにて告知

**全塾**

ゼミナール委員会

<http://www.zenjuku-seminar.com>

@zenjuku\_keio / @zenjuku\_nyuzemi

<https://www.facebook.com/zenjuku.nyuzemi/>

zenjuku.seminar.nyuzemi2016@gmail.com

## 分野別研究会総覧

分野	研究会	詳細な専攻	他学部
開発経済	大平哲研究会	開発経済学・地域経済学	可
	山田浩之研究会	開発経済学	可
環境経済	大沼あゆみ研究会	環境経済学	可
	細田衛士研究会	環境経済学	可
金融	新井拓児研究会	確率論、数理ファイナンス	可
	伊藤幹夫研究会	ファイナンス、計量経済学	不可
	小林慶一郎研究会	マクロ経済学、金融理論	可
	櫻川昌哉研究会	国際金融・マクロ経済学(バブルと金融危機の分析)	可
経済学史、思想史	中妻照雄研究会	計量ファイナンス、ベイズ統計学、コーポレートファイナンス、データサイエンス	可
	前多康夫研究会	金融経済学、マクロ経済学	不可
	池田幸弘研究会	経済学史、思想史	可
	川俣雅弘研究会	理論経済学、経済学史	可
経済史	坂本達哉研究会	社会思想史	可
	高草木光一研究会	社会思想史	可
	飯田恭研究会	経済史、社会史、環境史	可
	太田淳研究会	東南アジア経済史、社会史	未定
	崔在東研究会	国際経済史	可
	中西聡研究会	日本経済史	可
	古田和子研究会	アジア経済史 専攻:近代アジア経済史	可
経済地理	松沢裕作研究会	日本社会史	可
	河端瑞貴研究会	空間社会経済研究・地理情報システム(GIS)	不可
計量経済、統計	武山政直研究会	経済地理・サービスデザイン	可
	河井啓希研究会	応用ミクロ理論にもとづく実証分析、産業組織論、医療経済	不可
	田中辰雄研究会	計量経済学・IT産業の実証分析	可
	辻村和佑研究会	経済統計学	可
	長倉大輔研究会	計量経済 Econometrics	可
	星野崇宏研究会	統計学・行動経済学とその応用 (マーケティング経営、ビッグデータ、社会現象)	可
	宮内環研究会	市場の数量分析	可
国際経済	秋山裕研究会	経済発展論、計量経済学	可
	大久保敏弘研究会	国際経済学・海外直接投資・新経済地理学 (空間経済学)・都市・地域経済	可
	嘉治佐保子研究会	国際マクロ経済学・欧州経済論	可
	木村福成研究会	国際貿易論・開発経済学	可
	駒形哲也研究会	東アジア・中国・新興国経済	可
	白井義昌研究会	国際経済学(国際貿易・国際金融・開発経済)	不可
	竹森俊平研究会	国際経済、国際金融	可
	産業、労働経済	赤林英夫研究会	教育・労働・家族の応用ミクロ計量経済学
植田浩史研究会		産業調査・産業史・経営戦略・経営史・中小企業論	不可
太田聡一研究会		労働経済学	可
駒村康平研究会		社会保障制度・社会政策・福祉	可
三嶋恒平研究会		工業経済学・国際経営学・中小企業論	可



制度、政策	金子勝研究会	金融、財政、社会保障	可
	寺井公子研究会	公共経済学・政治経済学	可
	土居文朗研究会	政治経済学・公共経済学・財政学	可
	藤田康範研究会	応用ミクロ経済学	可
	山田篤裕研究会	社会政策(労働政策・社会保障・福祉)	可
理論経済	石橋孝次研究会	産業組織論・ミクロ経済学	不可
	大西広研究会	マルクス経済学	可
	尾崎裕之研究会	「不確実性」の数理モデルの構築	可
	坂井豊貴研究会	メカニズムデザイン・社会的選択理論	不可
	塩澤修平研究会	理論経済学、金融経済学	可
	須田伸一研究会	理論経済学(マクロ経済学、ミクロ経済学)	不可
	玉田康成研究会	応用ミクロ経済学:インセンティブ・契約理論・産業組織論	可
	中村慎助研究会	理論経済学・公共経済学	可
	藤原一平研究会	マクロ経済学・国際金融論	可
	穂刈享研究会	ミクロ経済学、ゲーム理論	可
人口論	津谷典子研究会	人口論	可
行動経済	大垣昌夫研究会	行動経済学	可
応用分析	マッケンジー・コリン研究会	欧州経済・日本経済・計量経済学	可
財政社会学	井出英作研究会	財政社会学	可
医療経済	井深陽子研究会	医療経済学	不可
政策研究	北尾早霧研究会	少子高齢化問題、財政、社会保障などの政策研究	可
都市経済学	直井道生研究会	都市経済学・応用ミクロ経済学	可
都市計画	長谷川淳一研究会	都市計画	可
PCP	PCP	英語による実践的な経済学	可
研プロ	研プロ		

## 各研究会紹介

### 研究会名(分野/他学部入ゼミ可否)

---

1. 各ゼミの詳細な分野、専攻、領域
2. 各ゼミの具体的な研究内容の流れ、2年生のへのPR、メッセージ
3. 各ゼミ予定活動日
4. 現時点で予定されているA日程での選考方法(試験内容、成績表提出の有無など)
5. 本年度における4年生在籍人数,3年生の在籍人数
6. 本年度開講の教授の授業
7. ゼミ生の連絡先

ページ	研究会名
p.19	赤林英夫研究会
	秋山裕研究会
p.20	新井拓児研究会
	飯田恭研究会
p.21	池田幸弘研究会
	石橋孝次研究会
p.22	井手英策研究会
	伊藤幹夫研究会
p.23	井深陽子研究会
	植田浩史研究会
p.24	大垣昌夫研究会
	大久保敏弘研究会
p.25	太田淳研究会
	太田聰一研究会
p.26	大西広研究会
	大沼あゆみ研究会
p.27	大平哲研究会
	尾崎裕之研究会
p.28	嘉治佐保子研究会
	金子勝研究会
p.29	河井啓希研究会
	河端瑞貴研究会
p.30	川俣雅弘研究会
	北尾早霧研究会
p.31	木村福成研究会
	小林慶一郎研究会
p.32	駒形哲哉研究会
	駒村康平研究会
p.33	坂井豊貴研究会
	坂本達哉研究会
p.34	櫻川昌哉研究会
	塩澤修平研究会
p.35	白井義昌研究会
	須田伸一研究会
p.36	高草木光一研究会
	竹森俊平研究会
p.37	武山政直研究会
	田中辰雄研究会
p.38	玉田康成研究会
	崔 在東研究会
p.39	辻村和佑研究会
	津谷典子研究会
p.40	寺井公子研究会
	土居丈朗研究会
p.41	直井道生研究会
	長倉大輔研究会
p.42	中妻照雄研究会

p.42		中西聡研究会
p.43		中村慎助研究会
		長谷川淳一研究会
p.44		藤田康範研究会
		藤原一平研究会
p.45		古田和子研究会
		穂刈享研究会
p.46		星野崇宏研究会
		細田衛士研究会
p.47		前多康男研究会
		マッケンジー・コリン研究会
p.48		松沢裕作研究会
		三嶋恒平研究会
p.49		宮内環研究会
		山田篤裕研究会
p.50		山田浩之研究会
		PCP
p.51		研究プロジェクト

## ●赤林英夫研究会(産業・労働経済/可)

---

1. 教育・労働・家族の応用ミクロ計量経済学
2. 日本を代表する教育経済学者である赤林英夫教授の下、ミクロ計量経済学を勉強しながら、主に教育・労働・家族の分析に応用しています。本研究会では、現実の問題を経済学的に発見し、統計的に分析する能力を身につけることで、応用ミクロ計量経済学の視点・手法を獲得します。英語の文献を読み、英語でプレゼンテーションができることも重視し、ネット上の動画や資料も積極的に利用して学習しています。教育・労働・家族といった分野に興味がある方、英語と数字によって自分の意見を伝える力を身につけたい方、ぜひ本研究会にお越しください。
3. 本ゼミ:水曜日4・5限 サブゼミ:なし
4. 事前レポート、面接、成績表の提出有
5. 4年生(16期生):11人(男子10人、女子1人) (うち他学部0人、留学中1人)  
3年生(17期生):6人(男子3人、女子3人) (うち他学部0人、留学予定者1人)
6. 労働経済学(春後半(三田)、水曜日1限、金曜日1限)、自由研究セミナー(秋(日吉)、金曜日4限)、経済学で考える人生設計:勉強・家庭・キャリアの選択(秋(日吉)、金曜日5限)
7. 外ゼミ代表 後藤 理央 gori.gori.gorio1229@gmail.com  
入ゼミ担当 田丸 良祐 tama110055@gmail.com

## ●秋山裕研究会(国際経済/可)

---

1. 経済発展論、計量経済学
2. 2年生のみなさん、初めまして。秋山裕研究会です。当研究会は、国際経済学の分野の1つである経済発展論を、計量経済学の手法を用いながら、分析を行う研究会です。主な活動としては、学内では三田祭論文の作成、学外では日経円ダービーや日経ストックリーグへの参加を行っています。全国規模のコンテストである円ダービーやストックリーグでの成績は全国トップクラスです。この成績の背景には、秋山先生の手厚いご指導があり、先生の研究室に伺い質問をすることのできる数少ない研究会であることが挙げられます。少しでも秋山研究会の活動に興味を持っていただけたなら、是非ブースにお越し下さい。
3. 本ゼミ:火曜4,5限 サブゼミ:金曜5限
4. 筆記試験(マクロ経済学、ミクロ経済学、統計学、英語の4科目から得意な2科目を選択)、指導教授による面接、成績表の提示
5. 4年生(20期):9人(男子7人、女子2人)  
3年生(21期):7人(男子6人、女子1人)
6. 経済発展論(春秋(三田)金3)、計量経済学概論(春(日吉)、月2)、統計学(春秋(日吉)、水曜3,4)
7. 外ゼミ代表 藤崎隆真 akiyama-sotozemi@econ.keio.ac.jp  
入ゼミ担当 村中杏莉 akiyama-nyuzemi@econ.keio.ac.jp

## ●新井拓児研究会(金融/可)

---

1. 確率論・数理ファイナンス
2. 本研究会は数理ファイナンスを主テーマにしていますが、実質的には、数学、とりわけ解析学と確率論の学習が中心となります。数学の議論に慣れてもらうことを目的に、かなり細かなことにもこだわる妥協のない議論を目指します。3年生の春学期に微分積分学の教科書の輪読を行い、3年生秋学期から4年生春学期にかけて確率論の教科書を輪読します。仕上げとして4年生の秋学期に、学生の希望に応じて数理ファイナンスに関する文献を輪読します。尚、本研究会では飲み会、合宿などのイベントは行いません。三田祭にも原則的には参加しません。
3. 本ゼミ: 月曜日4, 5限 サブゼミ: なし
4. 数学の試験のみ。
5. 4年生(9期生): 4人(男子4人、女子0人) (うち他学部0人、留学中/留学予定者0人)  
3年生(10期生): 3人(男子3人、女子0人) (うち他学部0人、留学中/留学予定者0人)
6. 解析学Ⅱa(春(三田)、火2)、INTRODUCTION TO FINANCE(PCP)(秋(三田)、月2)
7. 外ゼミ代表 名前 成田健人 メールアドレス [arbalest060606@gmail.com](mailto:arbalest060606@gmail.com)  
入ゼミ担当(代表) 名前 山崎光将 メールアドレス [ustim72damay@gmail.com](mailto:ustim72damay@gmail.com)

## ●飯田恭研究会(経済史/可)

---

1. 経済史、社会史、環境史
2. 本研究会はドイツを中心としたヨーロッパと日本の森林史を主に扱っています。前期は先生が指定された文献を輪読しています。今年読んでいる文献は斎藤修著『環境の経済史 森林・市場・国家』と岸修司著『ドイツ林業と日本の森林』です。森林は時代ごとの要望に応じて人間に様々な所で利用され色々なものを供給し、人間社会・環境に影響を与え続けています。森林などの自然環境・農林業などに興味がある方はぜひ飯田ゼミにお越し下さい。
3. 本ゼミ: 火曜日4,5限 サブゼミ: なし
4. 事前レポートと面接、成績表提出あり
5. 4年生(15期生): 5人(男子5人 女子0人) (うち他学部/留学中0人)  
3年生(16期生): 4人(男子4人 女子0人) (うち他学部/留学中0人)
6. 経済史入門Ⅰ (春学期・水2) (日吉)、歴史的経済分析の視点 (秋学期・水2) (日吉)、  
専門外国書講読(半期)(独) (秋学期・木2) (三田)
7. 外ゼミ代表 中谷太一 [t-nakatani@z6.keio.jp](mailto:t-nakatani@z6.keio.jp)  
入ゼミ担当 前田峻登 [ryoto0224pisces@keio.jp](mailto:ryoto0224pisces@keio.jp)  
(他学部生、留学予定者は事前に教授との個別相談にいらして下さい。)

## ●池田幸弘研究会(経済思想史/可)

---

1. 経済学史、経済思想史
2. 池田ゼミでは経済思想史を主に研究しています。一口に経済思想史といっても扱う内容は様々であり、それが魅力でもあります。本ゼミでは、ハイエクの書籍を中心に輪読し、経済思想史を様々な観点から考えディスカッションを行っています。池田ゼミには様々なバックグラウンドを持ったゼミ生が所属しています。議論をする上で多様な考え方に触れることができ、自分の価値観が広がることはもちろん非常に有意義なゼミ生活を送ることができます。
3. 本ゼミ：水曜日 4・5 限、サブゼミ：月曜日 4 限、
4. A 日程 面接のみ、B 日程 筆記試験と成績表提出
5. 4 年生(18 期生)：(男子：12 人、女子 1 人) (うち他学部 1 人)  
3 年生(19 期生)：(男子：16 人、女子 1 人)
6. 経済学史Ⅱ (三田、秋学期集中、金曜日 1・2 限)  
経済思想の歴史Ⅰ (日吉、春学期、月曜日 1 限)
7. 外ゼミ代表 秋元勇人 hayato88101234@yahoo.co.jp  
入ゼミ担当 伊藤雅彦 itomasahiko.a2@gmail.com

## ●石橋孝次研究会(理論経済/不可)

---

1. 産業組織論・ミクロ経済学
2. 本研究会では、応用ミクロ経済学の一分野である産業組織論について理論・実証の両面から研究します。産業組織論とは、市場について需要と供給の両面から分析する分野で、ビジネス・スクールで学ぶ経営戦略論の基礎となる学問でもあります。主な関心としては、市場システムが不完全にしか機能しない状況において、市場メカニズムの限界と、それを是正するための政策について考えることです。理論だけではなく、実証分析に必要な計量経済学も並行して学習します。また、英語で書かれた教材を使うので、英語の訓練も出来て一石二鳥です。
3. 本ゼミ：月曜 4・5 限、サブゼミ：木曜 5 限(春学期のみ)、  
パートゼミ(時間や回数はパートごとに決める)
4. ミクロ経済学の筆記試験と学生面接&教授面接(試験：面接=9：1 で評価)
5. 4 年生(17 期生)：14 人(男子 13 人、女子 1 人)  
3 年生(18 期生)：11 人(男子 7 人、女子 4 人)
6. ミクロ経済学初級Ⅱ (日吉、秋学期、木曜日 1 限)、ミクロ経済学中級Ⅰa (三田、春学期、水曜日 2 限)、産業組織論 b (三田、秋学期、水曜日 3 限)
7. 外ゼミ代表 上野 浩 kouyeno@a7.keio.jp  
入ゼミ担当 足立春花 fssf0404@gmail.com

## ●井手英策研究会(財政社会学/可)

---

1. 財政社会学
2. 当研究会では、先生の専門分野である財政社会学の視点から勉強を進めています、今年度は租税をはじめとする財政政策についてその根本から考え、はじめとする財政政策についてその根本から考え、またその基盤となる社会のあり方にも目を向けながら両者への有機的な理解を深めています。具体的な活動内容として、普段のゼミでは主に輪読とそれをもとにした討論をしており、その他にも例年通りインゼミでの論文発表や合宿を行っていく予定です。ご質問等があればお気軽にお問い合わせください。
3. 本ゼミ:金曜日4, 5限 サブゼミ:火曜日4限
4. 面接と課題レポート。レポートに関しては、先生から事前にテキストとテーマが指定される。また、面接時に成績表を提出する。
5. 4年生(6期生):12人(男子7人、女子5人)(うち他学部/留学中0名)  
3年生(7期生):10人(男子7人、女子3人)(うち他学部/留学中0名)
6. 社会問題Ⅱ(春)(日吉、火曜日5限)、財政社会学(秋)(三田、金曜日2, 3限)
7. 外ゼミ代表 薮越 大輔 yaboo.iy@gmail.com  
入ゼミ担当 安達 栄作 with2731sea@keio.jp

## ●伊藤幹夫研究会(金融/不可)

---

1. ファイナンス、計量経済学
2. 3年生の前期では、まず基礎知識を付けるために基本的な金融の語句や仕組みを、また後期に向けて線形代数や微分積分などの数学の復習を中心に学びます。後期では各パートに分かれ、金融市場における実証分析を統計学的手法を用いて行います。また夏季休暇中には統計ソフトであるRを使えるようになるための合宿が行われます。毎週出る課題を通じて幅広く、着実に知識を付けていくことができるためコツコツ努力ができる方や、金融を基礎から学んでいきたい方にはうってつけのゼミだと思います。
3. 本ゼミ:水曜日4,5限 サブゼミ・パートゼミ:なし
4. A・B日程ともに与えられた課題に対するレポートによる選考(成績表の提出有無は未定)
5. 4年生:8人(男子8人)  
3年生:13人(男子10人、女子3人)
6. マクロ経済学初級Ⅱ(秋(日吉)、木曜2限)、マクロ経済学中級Ⅱa(春(三田)、水曜2限)、マクロ経済学中級Ⅱb(秋(三田)、水曜2限)
7. 外ゼミ代表 伊東貴広 takahiroito0401@gmail.com  
入ゼミ担当 加藤大地 rsbjack1@gmail.com



## ●井深陽子研究会(医療経済学/不可)

---

1. 医療経済学
2. 井深研究会の専攻分野は医療経済学です。医療経済学とは、よりよい健康の実現という大きな目的を実現するために、医療に関わる制度設計や政策に関してどのように改善をすべきなのかを考える比較的新興の学問です。本研究会では現在、時事ニュースの発表や『貧乏人の経済学-もういちど貧困問題を根っこから考える』という教科書の輪読を行っています。現在開設1年目ですが、少人数で皆仲が良く、自由な雰囲気です。医療経済学や計量経済学、統計学に興味を持ってくださった方はぜひブースにお越しください。お待ちしております！
3. 本ゼミ:水曜日5限(来年度は水曜日4、5限)、サブゼミ:水曜日6限(来年度は未定)
4. A,B日程ともに筆記試験(ミクロ経済学の基礎的学力、統計の基礎的学力、英語の基礎的学力)、教授面接、成績表提出あり
5. 3年生(1期生):6人(男子5人、女子1人)
6. 医療経済学(三田、春学期、木曜日2限),*Health Economics*(三田、秋学期、木曜日2限)演習(三田、春・秋学期、水曜日4限)
7. 外ゼミ代表 桑原 倫香 [kuwaharamichika@gmail.com](mailto:kuwaharamichika@gmail.com)  
入ゼミ代表 友野 皓介 [tmn.ko@keio.jp](mailto:tmn.ko@keio.jp)

## ●植田浩史研究会(産業・労働経済学/不可)

---

1. 産業調査・産業史・経営戦略・経営史・中小企業論
2. 当ゼミでは、経済を理論や歴史からだけではなく、現実にも即した具体的で身近なテーマを取り上げ、ゼミ員同士でディスカッションを行います。また、産業や企業の現状、実態を学ぶためにフィールドワークを積極的に行い経営戦略などについて研究します。普段の学生生活では会うことのないような方々とお話しする機会もあり、輪読だけでなく貴重な経験を積むことができることが当ゼミの魅力です。植田ゼミに興味を持ってくださった方は是非個別ブースに足を運んでください！
3. 本ゼミ:金曜日4・5限、サブゼミ:月曜日4・5限
4. 選考方法:事前レポート、面接(教授・学生)、成績表提出なし
5. 4年生(10期生):18人(男子9人、女子9人)  
3年生(11期生):21人(男子12人、女子9人)(うち留学予定者1人)
6. フィールドワーク論(日吉、春学期月曜4限)、日本資本主義発達史(三田、春学期金曜日1,2限)、現代日本経済論b(三田、秋学期金曜日2限)
7. 外ゼミ代表 村上晃大 [murakami.akihiro0828@gmail.com](mailto:murakami.akihiro0828@gmail.com)  
入ゼミ担当 五嶋春花 [sakurharuka7@gmail.com](mailto:sakurharuka7@gmail.com)

## ●大垣昌夫研究会(行動経済学/可)

---

1. 行動経済学
2. 大垣ゼミでは行動経済学を扱っています。行動経済学とは伝統的な経済学とは異なり、実際の人間が経済的にどのような行動をとるかを観察してその結果を分析する学問です。ゼミの雰囲気は非常に楽しく活気があり、学年問わず、仲良く活動しています。また、様々なタイプの人々がいて個性が尊重されるユニークなゼミです。大垣ゼミに興味を持ってくれた方は個別ブースに是非足を運んでください！
3. 本ゼミ: 月曜日4・5限 サブゼミ: 木曜日4・5限
4. 事前レポート、面接(教授/学生)、ディスカッション(成績表の提出は無し)
5. 3年生 20名(男12名、女08名)  
4年生 20名(男13名、女07名)
6. 国際経済と行動経済学 a・b (春学期火曜1・2限)
7. 外ゼミ代表 笹森 慎也 [sassa\\_bz@yahoo.co.jp](mailto:sassa_bz@yahoo.co.jp)  
入ゼミ担当 金正雄(キム ジョンウン) [marineoxy2@outlook.com](mailto:marineoxy2@outlook.com)

## ●大久保敏弘(国際経済/可)

---

1. 国際経済学・海外直接投資・新経済地理学(空間経済学)・都市・地域経済。
2. 大久保ゼミは少人数で活動しているため、各自興味ある分野について学べ、個人の意見が学習内容に反映されやすく主体的に活動しやすい環境が整っています。教授との距離が本当に近く、日頃の疑問にも経済的なアプローチをわかりやすく教えてくださいます。またゼミ員同士の仲が非常に良く、充実したゼミ活動を行っています！今年は海外から来られた研究者の方々との交流もありました。皆さんで6年目の新しいゼミなのでまだ歴史は浅いですが、これからのゼミを皆さんで作出すことができます。是非一緒に大久保ゼミを作り上げていきましょう！
3. 本ゼミ: 水曜日 4,5 限 サブゼミ: 月曜日 4,5 限
4. A、B 日程: 事前提出課題+成績表+面接
5. 4年生(5期生): 11人(男子7人, 女子4人)  
3年生(6期生): 7人(男子7人, 女子0人)(うち留学予定者1人)
6. Financial Management and Corporate Governance(春集中(三田)), 貿易政策 a(春(三田)、水曜日1・2限) 貿易政策 b(秋(三田)、水曜日1・2限)
7. 外ゼミ代表 大山貴史 [takafumioyama0519@softbank.ne.jp](mailto:takafumioyama0519@softbank.ne.jp)  
入ゼミ代表 並木健剛 [kenkenvb@gmail.com](mailto:kenkenvb@gmail.com)

## ●太田淳研究会(経済史/未定)

---

1. 経済史(東南アジア経済史、社会史)
2. 東南アジアは、現在世界で最も成長著しい地域の一つです。この地域が今までどのように歴史発展を遂げたのか、また現在の経済・社会の状況がどのような歴史展開とつながっているのかを追求するのが本研究会の目的です。活動は文献購読とゼミ生による研究報告を中心としており、東南アジアにおける近世から現代までのあらゆる経済的事象や人々の生活について扱います。積極的に議論に参加して意見を表明することが求められますが、太田先生はゼミ生の意見を尊重して下さる方です。是非一度ゼミの雰囲気を感じにブースに来てみてください。
3. 本ゼミ:火曜 2 限 サブゼミ:適宜
4. レポート・教授面接・成績表によって総合的に考慮して選考します。
5. 3 年生(1 期生):11 人(男子 8 人、女子 3 人)
6. 経済史入門Ⅱ(春・日吉・月曜 5 限)、自由研究セミナーa/b 東南アジア経済史 (春秋セット・日吉・月曜 4 限)、ECONOMIC HISTORY OF ASIA (春・三田・火曜 4 限)
7. 外ゼミ代表: 荒木萌々、入ゼミ代表: 奥村真輝 otaseminar2016@gmail.com (共通)

## ●太田聰一研究会(労働経済学/可)

---

1. 労働経済
2. 我がゼミでは労働経済学はもちろん、時事問題や社会問題などの幅広い分野を学ぶことができます。3 年春学期にはオリエンテーションとして教科書や太田先生が用意して下さった資料を輪読、またグループディスカッションを行います。3 年秋学期には、より具体的なテーマを定めて各人の論文報告などを行います。4 年生は基本的に卒業論文の作成を進めていただきます。グループディスカッションや輪読プレゼンを通じて多くの知識を得ましょう！太田ゼミはソフトボールも強いです！！
3. 水曜 4・5 限
4. 事前課題、筆記試験、学生による面接を組み合わせます。(B 日程の募集は A 日程の人数次第実施)
5. 4 年生(10 期生): 14 人 (男子 9 人、女子 5 人)  
3 年生(11 期生): 15 人 (男子 11 人、女子 4 人)
6. 労働経済論 b【三田・秋・水曜 2 限】
7. 外ゼミ代表 吉田有里 lily.evolve\_cheerily@icloud.com  
入ゼミ代表 川口遼太郎 ryotarooo.6@gmail.com

## ●大西広研究会(理論経済/可)

1. マルクス経済学
2. 当研究会では、マルクス経済学と近代経済学の融合を目標としています。そこで今年度は盛山和夫らの著作「社会を数理で読み解く」を輪読しています(来年度の活動は未定)。サブゼミでは毎年、当研究会の根幹ともいえるマルクスの著書「資本論」を輪読しています。  
マルクス経済学に興味のある方、また大西先生の人柄に魅力を感じた人を募集します。皆様の入会を心待ちにしております。
3. 本ゼミ:水曜日4.5限、サブゼミ:火曜日4限
4. 「マルクス経済学を学びたいとする理由」についてレポート提出、教授面接、成績表の提出有
5. 4年生(4期生):11人(男子10人、女子1人) (うち他学部/留学中0名)  
3年生(5期生):11人(男子9人、女子2人) (うち他学部/留学中0名)
6. マルクス経済学(日吉、木曜2限 通称:木2マル経)、現代資本主義論(三田、水曜2限)、現代日本経済論(三田、火曜2限)
7. 外ゼミ代表 今井一輝 kazuu5696@gmail.com  
入ゼミ担当 萩原貴利 taka0815@keio.jp

## ●大沼あゆみ研究会(環境経済/可)

1. 環境経済学
2. 大沼研究会では地球上の環境問題を取り上げ、経済理論や制度的なアプローチなど、様々な手法を用いてその解決策を考え分析する環境経済学を学ぶことを目的とします。本ゼミでは環境経済学に関するテキストの輪読と、環境に関する新聞記事について考察し、具体的な政策を提言する新聞発表を行います。12月には早稲田大学とインゼミを行います。ここでは、それぞれが作成した論文を発表します。また、ゼミ員同士の仲が良く、勉強以外のゼミ活動にも力を注ぎ、充実したゼミ生活を過ごせるのも当研究会の特徴です。興味を持った方は是非ブースに来てください!
3. 本ゼミ:水曜日4.5限 サブゼミ:金曜日4.5限
4. レポート、筆記試験(マイクロ経済学)、面接(教授、学生)、成績表提出無し
5. 4年生(13期生):20人(男子15人、女子5人) (うち留学中1人)  
3年生(14期生):15人(男子14人、女子1人) (うち留学予定者1人)
6. 環境経済論(春(三田)、水曜日1.2限)、経済と環境(秋(日吉)、水曜日1限)
7. 外ゼミ代表 落合 秀峻 hidetaka516@gmail.com  
入ゼミ担当(代表) 高橋 毅行 takeyukitaka714@gmail.com

## ●大平哲研究会(開発経済学/可)

---

1. 開発経済学・地域経済学
2. 本ゼミでは以下のテキストを輪読しています。(黒岩郁雄ほか編『テキストブック開発経済学』、有斐閣、2015年) サブゼミでは以下の4つのテーマにわかれて、全員で協力しながら研究をおこなっています。(茨城空港の活性化、貧困世帯に対する子どもの学習支援、熱海の観光開発、絶対的貧困層に希望を持たせること)
3. 本ゼミ: 火曜日 4,5 限 サブゼミ: グループにより異なる(週1回程度)
4. 未定
5. 4年生(11期生): 9人(男子5人、女子4人) (うち他学部0人、留学中/留学予定者2人)  
3年生(12期生): 16人(男子11人、女子5人) (うち他学部1人、留学中/留学予定者1人)
6. マクロ経済学初級Ⅱ(秋(日吉)、火曜日2限)、農業経済論 ab(春秋(三田)、火曜日3限)、格差と援助の経済学 ab(春秋(三田)、水曜日1限)、マイクロファイナンス論(春(三田)、水曜日2限)
7. 外ゼミ代表 山口耀広 メールアドレス kanagawa21c@gmail.com  
入ゼミ担当 樋口赳也 メールアドレス take\_okegawakg@keio.jp

## ●尾崎裕之研究会(理論経済/可)

---

1. 「不確実性」の数理モデルの構築
2. 本ゼミでは、1コマ目で尾崎教授の解説を交えながらゼミ生の輪読を、2コマ目で Mathematica 等のソフトウェアの学習を行っています。サブゼミでは、ゼミ生が3つの班に分かれ、三田論やインゼミ(毎年1月に東京大学、大阪大学とのインゼミを行っています)で発表する論文についてそれぞれが話し合いを進めています。とても自由なゼミで、研究内容も自分たちで決めることができますし、活動自体も多いというわけではありません。また、社会科見学等も行っていきます。
3. 本ゼミ: 火曜4・5限 サブゼミ: 班ごとに時間を決めて活動
4. A 日程、B 日程共に、筆記試験と面接による。筆記試験は出題範囲をあらかじめ指定する。来年度は、大河ドラマ『真田丸』から出題予定。
5. 3年生(11期生): 15名(男子13名、女子2名)(留学中0名)  
4年生(10期生): 17名(男子12名、女子5名)(留学中0名)
6. マクロ経済学初級Ⅰ(日吉、木曜1限)、マクロ経済学中級Ⅰ(三田、月曜1限)  
数理経済学Ⅱ(三田、月曜3限)
7. 外ゼミ代表 守屋祐一郎 yuichromoriya95@gmail.com  
入ゼミ担当 宮本歩実 miyamoto-ayumi@keio.jp

## ●嘉治佐保子研究会(国際経済/可)

---

1. 国際マクロ経済学・欧州経済論
2. 嘉治ゼミは少人数の定員だからこそ実現できる自由でアットホームな雰囲気の下、全て英語で国際マクロ経済学・欧州経済論を学びます。時には、本ゼミやサブゼミ以外でも自主的に集まって勉強会を開きますが、飲み会や合宿、バーベキュー、経ゼミのソフトボール大会、スポーツ大会など、息抜きもちゃんとしています。半学半遊ならぬ全学全遊、そんな嘉治ゼミでの時間は、みなさんの自主性次第で非常に充実したものとなることを約束します。来年、みなさんと共に国際マクロ経済学・欧州経済論を学べることを楽しみにしています。
3. 本ゼミ: 月曜日 4・5 限, サブゼミ: 木曜日 5 限(その年ごとにゼミ員が決定します。)
4. 筆記試験(マクロ、ミクロ経済学について英語で出題(英語で回答)、60 分) + 面接試験 (PCP 合格者は筆記試験免除、嘉治先生とゼミ生が面接 - 英語)、筆記用具と辞書は可(経済学の専門的な辞書は除きます)、願書と成績表のコピー提出(成績証明書ではありません)
5. 4 年生(23 期生): 13 人(男子 6 人、女子 7 人) (Science Po からの留学生 4 人)  
3 年生(24 期生): 12 人(男子 10 人、女子 2 人) (他学部 1 人、留学中/留学予定者 4 人)
6. OPEN ECONOMY MACROECONOMICs a/b(春(三田)土 4・5)、FINANCE, POLICY AND THE GLOBAL ECONOMY(秋(三田)土 4)、INDEPENDENT STUDY(秋(三田)、土 5)
7. 外ゼミ代表 石井裕大 lewisyuta@gmail.com  
入ゼミ担当 貝津佑一郎 y.kaitsu.7258@gmail.com 馬欠場直人 numakakeba@gmail.com

## ●金子勝研究会(制度・政策/可)

---

1. 金融、財政、社会保障
2. 上述の通り、現実社会の制度や政策に関して論理的思考を養うことを目標としてディベートを行っています。ディベートを通して他者の主張の本質・理論を理解し、現実との整合性を検証、それにより論理の矛盾を突き止め、代替案を提示します。興味関心を抱いている分野の本を選択した後、3.4 人の班ごと賛成反対に分かれ、サブゼミでディベートに向けた論点整理を行います。本ゼミでは各班が製作したレジュメに基づいて議論を深めます。ゼミ活動を通して問題を考えるにあたり、整合性やロジックの検証を通して論理的思考力を高めることができます。さらに、知識・思考力・表現力を総合的に高めることができるのが金子ゼミの特徴です。
3. 本ゼミ: 月曜日 4,5 限 サブゼミ: 木曜日 4,5 限
4. B 日程のみ募集: 課題レポート・筆記試験・ゼミ生、教授による面接
5. 4 年生(15 期生): 15 人(男子 13 人、女子 2 人)  
3 年生(16 期生): 13 人(男子 12 人、女子 1 人)・(うち他学部 1 人)
6. 産業経済学 a,b(春学期(三田)、月 2,3 セット履修)・自由研究セミナー(秋学期(日吉)、火 4)
7. 外ゼミ代表 杉山卓人 89sugitaku.vol@gmail.com  
入ゼミ担当 岡村衣里子 eri07316212@gmail.com

## ●河井啓希研究会(計量経済学/不可)

---

1. 応用ミクロ理論にもとづく実証分析、産業組織論、医療経済学
2. 本研究会では応用ミクロ理論とその実証分析についての研究を行っています。4限では『戦略の経済学』(ベサンコほか、ダイヤモンド社)という教科書を、3年生によるプレゼンテーション形式で読み進めています。5限では論文の輪読や三田祭論文の準備などを通して実証分析を行うほか統計パッケージ(R と stata)を用いた実習も行います。ゼミ員は3, 4年生合わせて45人と多く、にぎやかな雰囲気です。また河井先生は気さくで優しい先生ですので「楽しく、でもしっかりと勉強したい!」という方におすすめのゼミです。
3. 本ゼミ;水曜4, 5限 サブゼミ;春学期の stata 講習会への参加
4. A 日程:簡単な筆記試験(ミクロ経済学と統計学)、面接試験、成績表提出  
B 日程:面接試験、成績表提出
5. 3年生(18期生):21名(男18名、女3名)(うち他学部0人、留学関連0人)  
4年生24名(17期生):(男23名、女1名)(うち他学部0人、留学関連0人)
6. 統計学Ⅰ、Ⅱ(春秋(日吉)水曜日2限)、計量経済学上級a(春(三田)金曜日2限)
7. 外ゼミ代表 榛村 光哲 shimmura-1m@excite.co.jp  
入ゼミ代表 川俣 祐子 ma2074yu@gmail.com

## ●河端瑞貴研究会(経済地理/不可)

---

1. 空間社会経済研究・地理情報システム(GIS)
2. 「空間」を切り口に、現実の都市や地域における社会経済問題について研究・分析しています。研究を遂行する上で、強力なツールとなるのが地理情報システム(GIS)です。GISの強みは、空間情報を視覚化できるだけでなく空間位置関係に基づく分析を行えることにあります。詳しくはブースへお越しください!スタートして5年目ですが、メンバーが比較的多く非常に活発なゼミです。一緒にゼミを盛り上げてくれるやる気のある方をお待ちしています!
3. 本ゼミ:水曜日3,4限、サブゼミ:水曜日5限(曜日は変更する恐れあり)
4. 筆記試験、面接、成績表
5. 4年生(4期生):21人(男子13人、女子8人)(うち他学部/留学中0人)  
3年生(5期生):15人(男子11人、女子4人)(うち他学部/留学中0人)
6. 経済地理(春秋(三田)、水曜日2限)/ 経済と環境(秋(日吉)、月曜日2限)
7. 外ゼミ代表 小林 寛英 kobahiro8.1@docomo.ne.jp  
入ゼミ担当 高尾 均 hitohito.t@gmail.com

## ●川俣雅弘研究会 (経済学史・思想/可)

---

1. 理論経済学、経済学史
2. 当ゼミでは、ゼミ員が3～4人ずつのグループに分かれ、毎回1つのグループが教材に基づいて、プレゼンを行います。教授は親身になって指導して下さるため、教授とゼミ員が一体となって活動しています。プレゼンを重ねることで、マクロやミクロ経済学などの知識の他、プレゼン能力等も身につけることができます。サークル、部活、バイトなどを頑張っている人でも両立できるゼミです。興味をもたれた方はぜひブースへお越し下さい！
3. 本ゼミ: 火曜日 4,5 限 サブゼミ、パートゼミ: なし
4. A 日程では英語とミクロ経済学の試験を行います。成績表提出はありません(現時点)
5. 4 年生(5 期生): 14 人(男子 13 人、女子 1 人) (留学中 1 人)  
3 年生(6 期生): 15 人(男子 14 人、女子 1 人)
6. 経済学史(三田、火曜日 2 限)
7. 外ゼミ代表 岩田 惟富 iwata50103@gmail.com  
入ゼミ担当 矢島 荘太郎 shotaroyajima@gmail.com

## ●北尾早霧研究会(政策研究/可)

---

1. 少子高齢化問題、財政、社会保障などの政策研究
2. 本研究会では少子高齢化問題や財政、社会保障などの政策課題を輪読や時事問題に関するディスカッションを通じて勉強しています。また、ミクロとマクロ、理論と現実のバランスを取りつつ、政策課題を考えています。まだ1年目の自由なゼミであり、先生はゼミ員の意見を尊重されるので、各々のやりたいことを反映させることが出来ます。北尾先生はこれまでに海外の大学や外資系金融、NY 連銀などでご活躍されてきており、私達にとっても優しく丁寧にご指導して下さいます。興味を持った方はぜひブースへいらして下さい！！
3. 本ゼミ: 木曜日 1・2 限
4. レポート、面接、成績表により総合的に判断
5. 3 年生(1 期生): 14 人(男子: 11 人、女子: 3 人) (うち他学部 1 人、留学予定者 2 人)
6. MONEY, BANKING, AND FINANCE B(金融論b) (春(三田)、火曜日 2 限)  
Introduction to the Japanese economy (秋(日吉)、火曜日 1 限)
7. 外ゼミ代表 大西陸仁 rikutoo0802@keio.jp  
入ゼミ担当 伊丹梨乃 rinoitami@keio.jp



## ●木村福成研究会(国際経済/可)

---

1. 国際貿易論・開発経済学
2. 本ゼミでは国際貿易・開発経済に関する洋書や論文を輪読してプレゼン形式で進行し、国際経済の第一線で活躍する木村先生による鋭いフィードバックを受け疑問点やより深い議論を交わしていきます。留学生が多く学年の半分が留学予定者・留学生であるため、一部の学生は英語でプレゼンを行っています。ゼミ生同士の仲が非常に良く、プライベートでも一緒に遊びに行ったりイベントを企画したりもしています。ゼミ対抗のソフトボールの練習やサブゼミ後にカラオケ、ディズニーなどにも行きます！
3. 本ゼミ:水曜日 4・5 限 サブゼミ:月曜日 4・5 限
4. 小論文(テーマは事前公開):50%、面接:40%、成績:10%
5. 4年生(22期生):23人(男子12人、女子11人)(留学中または予定者6人)  
3年生(23期生):19人(男子15人、女子4人)(うち他学部1人、留学中または予定者7人)
6. 国際貿易論 a(春集中(三田)、水曜日 1・2 限)、国際貿易論 b(秋(三田)、水曜日 1・2 限)
7. 外ゼミ代表 小西凱 handgk0316th@gmail.com  
入ゼミ担当(代表) 越智航平 kimuzemi.2016@gmail.com

## ●小林慶一郎研究会(金融/可)

---

1. マクロ経済学、金融理論
2. 本研究会では、主に金融理論やマクロ経済学を用いて日本や世界の経済問題について理解を深めています。本ゼミでは関心のある分野についてのコラムや論文を発表し、三田論に向けてグループワークも進めていきます。サブゼミではゼミ生が自主的に選んだ書籍を輪読します。小林先生は最新の経済トピックや研究についてもお話して下さるので、自分で研究してみたい分野がある方も経済学の知識を広げていきたい方も、しっかり活動できる研究会です。ぜひ一度、説明会にお越しください！
3. 本ゼミ:月曜日 4・5 限 サブゼミ:金曜 4 限
4. 筆記試験(マクロ経済学)、面接、成績表提出
5. 4年生(3期生):11人(男子:11人)(うち他学部0人、留学中または予定0人)  
3年生(4期生):11人(男子10人、女子1人)(うち他学部0人、留学中または予定0人)
6. 日本経済システム論(春(三田)、月曜 3 限)・金融資産市場論(春秋(三田)、木曜 3 限)
7. 外ゼミ代表 豊田 光 hikaru.toyoda64@gmail.com  
入ゼミ担当(代表) 水町 夏子 mimicro5158@gmail.com

## ●駒形哲哉研究会(国際経済/可)

---

1. 東アジア・中国・新興国経済
2. 現代中国経済について様々な角度から考察・分析し、グループ議論と個人研究を通じて、中国に対する客観的な理解と思考をより深めることで社会に出た後、「自分の足で立って歩いていける力」をつけることを目標にしています。本ゼミでは春学期に3年生が報告者となり教科書の輪読を行い、秋学期は個人研究の報告を中心にします。さらに、国内で中国と関わりのある企業への訪問、聞き取り(フィールドワーク)もしています。4年次には中国研修へ行き、現地企業の訪問や中国の学生との交流を行います。
3. 本ゼミ:火曜日 4, 5 限、サブゼミ:水曜日 4 限
4. 試験科目:面接とプレゼンテーション /成績表提出:無
5. 4年生(13期生):5人(男子3人、女子2人)(うち1人留学中)  
3年生(14期生):8人(男子6人、女子2人)
6. 経済体制論(春秋(三田)、月曜日 2 限)・フィールドワーク論(春(日吉)、月曜日 4 限)
7. 外ゼミ代表 大橋慶也 yoshiya1207@hotmail.com  
入ゼミ担当 芹川哲也 seritetsu1001@gmail.com / 吳昇姫 tmdgmlfdk@naver.com

## ●駒村康平研究会(社会保障/可)

---

1. 社会保障制度・社会政策・福祉
2. 駒村研究会では私たちの生活と密接に関わるテーマである年金・介護・格差・雇用など様々な分野について、経済学的な視点で学びます。本ゼミでは輪読や各班の進行状況報告を行い、サブゼミでは分野ごとの班(今年度は①年金問題②格差問題③労働問題④子どもの教育問題)に分かれ研究を行っています。主体的なゼミ員が多く、和気あいあいとした雰囲気、仲が良いのが特徴です。また早稲田、同志社とのインゼミを毎年行っています。詳細な資料はゼミブースで配布します。是非お越しください！
3. 本ゼミ:水曜日 4.5 限 サブゼミ:班ごとに週一度程度自主的に集まり、パートゼミを行います。
4. 事前レポート、筆記試験、教授・学生面接、集団面接。成績表提出有(参考程度)
5. 4年生(9期生):20人(男子9人、女子11人)(うち他学部0人、留学関連0人)  
3年生(10期生):19人(男子11人、女子8人)(うち他学部0人、留学予定者1人)
6. 社会政策論(秋(三田)、火 3)、社会福祉論(秋(三田)、火 2)、社会保障の再構築(秋(三田)、水 2)
7. 外ゼミ代表 日沖翔大 hioki\_shota@yahoo.co.jp  
入ゼミ担当(代表) 合田萌映 moe.gohda@gmail.com

## ●坂井豊貴研究会(理論経済/不可)

---

1. メカニズムデザイン・社会的選択理論
2. 当ゼミの特徴は、学部レベルとしてはかなり高度でほかの授業では学ぶことのできない内容を扱っていることや、ゼミ員全員が和気あいあいとした雰囲気活発に議論し、活動していることです。社会的選択理論やメカニズムデザインについては、坂井先生の HP にある資料や案内を参考にしてください。この分野は実用化が目覚ましく進んでおり、理論と実践の距離が近いことが特徴です。興味を持ってくださった方はぜひブースへ足を運んでください。
3. 本ゼミ:水曜日 4,5 限 サブゼミ:金曜日 4 限
4. 願書、成績表、レポート(2000 字程度)、面接により総合的に判断(筆記試験無し)
5. 4 年生(5 期生):12 人(男子 9 人、女子 3 人)  
3 年生(6 期生):18 人(男子 16 人、女子 2 人) (うち留学中または留学予定者 2 人)
6. ミクロ経済学中級 I (三田、水曜 3 限)、ミクロ経済学初級 II(秋(日吉)、火曜 1 限)
7. 外ゼミ代表 前田凌佑 zaffiro.trigger26@gmail.com  
入ゼミ担当(代表) 橋川丈一郎 sunday28ba1d@gmail.com

## ●坂本達哉研究会(経済学史、思想史/可)

---

1. 社会思想全般
2. 当研究会では社会思想を主なテーマとし、毎週担当者を数人決めて、レポートをまとめてもらいながら課題文献を輪読します。担当者の発表後、その内容や関連する論点に対して、各ゼミ員の意見を聞きながら様々な考え方に触れ、理解を深めていきます。毎回和やかな空気でゼミが進行していくため、非常に議論に参加しやすいです。留学生や他学部生も在籍しており、様々な意見を聞くことができるのも、このゼミの良いところだと思います。
3. 本ゼミ:水曜日 4、5 限
4. 試験、面接
5. 4 年生(21 期生):9 人(男子 6 人、女子 3 人) (他学部 2 人)  
3 年生(22 期生):15 人(男子 14 人、女子 1 人) (他学部 0 人、留学予定者 1 人)
6. 近代思想史 I (春(日吉)、月曜日 4 限)、経済思想の歴史(春(日吉)、月曜日 5 限)  
社会思想 ab(秋(三田)、火曜日 4、5 限)
7. 外ゼミ代表 田邊久嗣 hisashitanabe923@keio.jp  
入ゼミ代表 曾根修司 syuujio708@z5.keio.jp

## ●櫻川昌哉研究会(金融/可)

---

1. 国際金融・マクロ経済学(バブルと金融危機の分析)
2. 春学期は国際金融についての本を輪読・プレゼンし、またそれとは別に金融や社会問題(少子化対策や所得格差是正など)について毎回一つテーマを選びゼミ員でディスカッションを行います。秋学期は三田祭論文や ISFJ(日本政策会議)の論文発表、東大・一橋とのインゼミを行います。議論を通じて、自分達で疑問点を見つけ、考える力や本質を見抜く力を身に付けることを目的としています。少人数であるため、発言やプレゼンを行う機会が圧倒的に多く、自分を成長させる機会が多く得られることが出来ます。
3. 本ゼミ: 金曜日 4,5 限 サブゼミ: 金曜日 3 限
4. レポート(2000~4000 字程度)、面接、成績表(参考程度)
5. 4 年生(12 期生): 9 人(男子 7 人、女子 2 人) (うち他学部 1 人、留学中 1 人)  
3 年生(13 期生): 8 人(男子 7 人、女子 1 人)
6. 国際金融論(春、三田、木曜 2 限)、専門外国書購読(春、三田、金曜 3 限)
7. 外ゼミ代表 李 侑珍 kizuna9433@gmail.com  
入ゼミ担当 白石 優生 bravegold07@gmail.com

## ●塩澤修平研究会(理論経済/可)

---

1. 理論経済学、金融経済学
2. 塩澤ゼミでは「よく遊び、よく学べ」をモットーに、個性豊かなメンバーで活動を行っています。研究内容としては理論経済学および金融論を含むその応用を対象としており、理論、金融、応用の3パートに分かれ、パートごとのテーマについて研究を行います。また、塩澤教授は多方面で活躍されていらっしゃる大変優秀な方ですが、気さくで指導にも熱心です。興味を持たれた方は是非ブースまで遊びにきて下さい。皆さんにお会いできる事楽しみにしています。
3. 本ゼミ: 火曜日 4,5 限 サブゼミ: 月曜日 4,5 限
4. 試験当日に成績表を提出の上、筆記試験(マクロ・ミクロ経済学、英文翻訳)、グループディスカッション、学生面接、教授面接を行います。
5. 4 年生(28 期生): 16 人(男子 10 人、女子 6 人) (うち他学部 0 人、留学中/留学予定者 2 人)  
3 年生(29 期生): 15 人(男子 10 人、女子 5 人) (うち他学部 0 人、留学中/留学予定者 0 人)
6. 金融論 a(秋(三田)、木曜日2限)、NPO 経済論(秋(三田)、火曜日3限)
7. 外ゼミ代表 加藤将太郎 shogdaeb0069@gmail.com  
入ゼミ代表 ジアティユセフ健 youssefziati@gmail.com

## ●白井義昌研究会(国際経済/不可)

---

1. 国際経済学(国際貿易・国際金融・開発経済)
2. 英語の教科書や学術論文を輪読・プレゼンすることで、あらゆる経済問題についての理解を深めます。更に春学期は貿易・金融・開発の3班に分かれ三田論に向けて研究を進め、秋学期は三田論発表や他大学とのインゼミ等を行います。白井先生はゼミ員の研究や発表に真摯に向き合って深く指導して下さるので、学問以外にも多くのことを学べます。また、先輩後輩問わず仲が良く、和気藹々とした雰囲気の中で刺激を受け合って成長出来る環境です。
3. 本ゼミ:水曜日4・5限 サブゼミ:月曜日4・5限
4. 筆記試験と面接を行います。成績表の提出はありません。
5. 4年生(18期生):18人(男子10人、女子8人)(うち留学中1名・留学予定1名)  
3年生(19期生):20人(男子14人、女子6人)(うち留学中4名・留学予定5名)
6. マクロ経済学初級 I (日吉、春学期、火曜日1限)  
MACROECONOMICS(PCP) (三田、水曜2限)
6. 外ゼミ代表 出町光太郎 kotaro.demachi@gmail.com  
入ゼミ担当 高橋若那 t.mona.u.u@gmail.com

## ●須田伸一研究会(理論経済/不可)

---

1. 理論経済学(マクロ経済学、ミクロ経済学)
2. 須田研究会では理論経済学を基礎から応用に至るまで幅広く研究しています。理論経済学とは複雑な経済現象を分析するために抽象的なモデルを設定し、マクロ経済学、ミクロ経済学で学んだ知識を用いてその仕組みや性質を考察する学問です。理論系のゼミに入りたいけれど理論経済学のどのようなことを学びたいかがはっきりしない、わからないという方や、理論経済学を総合的に学びたいという方におすすめです。
3. 本ゼミ:(水曜 4・5 限)、サブゼミ:(金曜 4・5 限)
4. ミクロ経済学、マクロ経済学、英語について基礎的理解を問う筆記試験。成績表のコピーの提出。面接。
5. 3年生 11名(男 11名)  
4年生 12名(男 10名、女 2名)(留学中 1名)
6. ミクロ経済学入門 I (春(日吉)、火曜日 1 限)
7. 外ゼミ代表 富山 徳仁 giantnoripanda@gmail.com  
入ゼミ担当 坂本 壮 jpopxfile.fakeshow.fly@gmail.com  
清水 憲彬 noriaki.s.0503@gmail.com

## ●高草木光一研究会 (経済学史、思想史/可)

---

1. 社会思想史
2. ゼミの活動は主に輪読と書評、個人報告からなります。本ゼミの4限では3年生の課題図書  
の輪読発表。5限では3年生の書評、4年生の卒論の中間発表が行われます。今年度(平成  
28年度)は課題図書として丸山真男『「文明論之概略」を読む』などを取り扱っています。教授  
の専門領域は19世紀フランス社会思想史ですが、ゼミ員の研究テーマは広義の「社会思想  
史」から選択できるものとします。
3. 本ゼミ:水曜日 4,5限、サブゼミ:なし
4. 小論文と面接による。成績表の提出はなし。
5. 4年生:9人(男子:8人、女子:1人)  
3年生:7人(男子:7人、女子:0人) (うち他学部2人)
6. 社会思想史 a,b(三田、春学期、水曜日 1,2限)
7. 外ゼミ代表 東風谷 祐斗 yuto-775-glee@z7.keio.jp  
入ゼミ担当 本間 勇輝 yuki-homma@a3.keio.jp

## ●竹森俊平研究会(国際経済/可)

---

1. 国際経済、国際金融
2. 本ゼミでは、竹森教授の指定した文献、論文(英語)のグループ発表を行います。サブゼミは、  
インゼミに向けた準備を行います。インゼミは、8月のGlobal Partnership of Asian  
College(GPAC)、11月の韓国インゼミ、1月の関西インゼミが予定されています。三田祭期間  
中は韓国インゼミで論文の発表をするため、三田祭論文の発表はありません。ゼミで英語を  
使いたい、海外の学生と交流したい、金融の知識を深めたいという皆さんにお勧めのやりが  
いのあるゼミです。
3. 本ゼミ:火曜4・5限 サブゼミ:木曜 4・5限
4. 未定
5. 4年生(23期生)(男14名、女10名)(留学中2名)  
3年生(24期生)(男7名、女12名)(他学部1名 留学中0名)
6. 経済論 a,b(通年(三田)火曜日 3限) International FinanceB(春(三田)水曜日 2限)
7. 外ゼミ代表 桑原 大輝 hrk988ra@gmail.com  
入ゼミ担当 坂本 真都里 matsuris0529@gmail.com

## ●武山政直研究会(経済地理/可)

---

1. 経済地理・サービスデザイン
2. 本研究会ではインタビューや実地調査、プロトタイプ作成などを通じて、サービスデザインについての研究を行っていきます。1年間の主な流れとしては、2ヶ月間のミニプロと8ヶ月間の本プロという2つのプロジェクトを行っていきます。プロジェクトごとにいくつかの班に分けられ、それぞれの班ごとに活動しています。本ゼミでは各班の発表及び発表に対する先生からのフィードバックをいただき、サブゼミ・パートゼミでは班ごとにプロジェクトに取り組んでいます。
3. 本ゼミ:月曜日45限 サブゼミ:水曜日45限 パートゼミ:不定期
4. 昨年度は課題文を読み、それに続く2つの設問についての自分の考えをA4用紙4枚以内でまとめるという形式でした。また、別途映像データや課題に関するファイルを提出することも可能で、課題の提出に加えてさらに成績表の提出と教授面接がありました。
5. 4年生(13期生):13人(男子6人、女子7人) (うち他学部6人)  
3年生(14期生):13人(男子7人、女子6人) (うち他学部3人)
6. 経済地理(三田、通年、月曜日2限) 経済と環境(日吉、春学期、火曜日5限)
7. 外ゼミ代表 鈴木 亮也 [suzukiryoya@keio.jp](mailto:suzukiryoya@keio.jp)  
入ゼミ担当 眞勢 瑛礼奈 [dnc.elena.smf@gmail.com](mailto:dnc.elena.smf@gmail.com)

## ●田中辰雄研究(計量経済・統計/可)

---

1. 計量経済学・IT産業の実証分析
2. 田中辰雄研究会では、計量分析を用いてコンピュータ、音楽、携帯電話など情報通信産業の分析をしています。計量分析とは、統計学を用いた分析手法であり、情報通信産業に限らず様々な分野で活用できる学問です。本ゼミでは、先生が指定された情報通信産業・計量分析に関する論文を各テーマ2人程度で担当してプレゼンテーションを行い理解を深めます。また、6月末頃からは三田論の発表に向けていくつかのグループに分かれ、テーマの設定・分析手法等、話し合いを進めます。
3. 本ゼミ:水曜日4・5限、サブゼミ:水曜日6限(不定期)
4. A日程:レポート7割、面接2割、成績表1割
5. 4年生(17期生):15人(男子:11人、女子4人)  
3年生(18期生):13人(男子:11人、女子2人)
6. 計量経済学中級a・b(三田、火曜日1,2限) 計量経済学概論(日吉、水曜日2限)
7. 外ゼミ代表 川上友輔 [yu02su15ke@gmail.com](mailto:yu02su15ke@gmail.com)  
入ゼミ担当 松室 哲一朗 [emurond966@gmail.com](mailto:emurond966@gmail.com)

## ●玉田康成研究会(理論経済/可)

---

1. 応用ミクロ経済学: インセンティブ・契約理論・産業組織論
2. 玉田ゼミでは『専門知識としての経済学の習得と現実経済の分析』を目的とし、ミクロ経済理論を軸に研究を行っています。また、『視点の確立』と『視野の拡大』を重要な柱として、経済理論(特にミクロ経済理論)を『視点』に、現実の経済現象を『視野』にあて、視点を確立した上でバランスよく視野を拡大していくことも活動の目的としています。学問に対する敬意と現実経済への関心、ゼミ活動への熱意を兼ね備えた学生の応募を望みます。
3. 本ゼミ: 水曜日 4,5 限、サブゼミ: 火曜日 4 限、パートゼミ: 火曜日 5 限
4. 筆記試験(ミクロ経済学): 60%、研究プラン+入ゼミ願書+面接: 40%  
成績表の提出: 無
5. 4 年生(14 期): 22 人(男子: 11 人、女子 11 人) (うち留学中 1 人)  
3 年生(15 期): 19 人(男子: 13 人、女子: 6 人)
6. ミクロ経済学初級 I (春(日吉): 木曜日 1 限)、ミクロ経済学初級 II (秋(日吉): 火曜日 2 限)、  
ミクロ経済学中級 IIb (秋(三田): 水曜日 2 限)
7. 外ゼミ代表 家次 恭亮 tsugu.leadoffman@gmail.com  
入ゼミ担当(代表) 関井 俊介 shunsukesekii0109@gmail.com

## ●崔在東研究会(経済史/可)

---

1. 国際経済史
2. 崔ゼミでは、経済の比較分析を行うために様々な国の経済問題を学んでいます。一方で三田論と卒業論文では経済史の分野に縛られずテーマを自由に設定することができます。崔教授はソウル大→東大出身の経歴をお持ちで、一昨年まで米のインディアナ大学に塾派遣される等、見識深い優しい先生です。崔ゼミは学業以外でも、今年度の経ゼミソフトボール大会で優勝するなどゼミ員同士の絆が大変深く、オンとオフが切り替えられる学生が精力的に活動するゼミです。女子も多数在籍しており、皆が主体となって作り上げる自由で活発な雰囲気非常に楽しいゼミです。是非ブースにお越しください！
3. 本ゼミ: 火曜日 4.5 限 サブゼミ: なし
4. 論文書評提出、研究計画書提出、面接を予定
5. 4 年生(8 期生): 22 人  
3 年生(9 期生): 19 人(女子 6 人、他学部 1 人)
6. 専門外国書購読 (三田、春、月 1,2) ECONOMIC HISTORY OF RUSSIA (三田、秋、火 1,2)
7. 外ゼミ代表 大塚 雄登 yutooo.0824@gmail.com  
入ゼミ担当 上野 冠 kan.ueno.0612@gmail.com



## ●辻村和佑研究会(統計/可)

---

1. 経済統計学
2. 辻村研究会は、経済統計(家計調査や資金循環表など)の資料を用いながら、時には計量経済学によるアプローチを試み、経済の様々な事象を分析する研究会です。辻村研究会の特徴として、毎週各班によるプレゼンテーションの場が設けられ、調査結果を発表する点が挙げられます。また、多種多様な経済統計を鵜呑みにするのではなく、経済統計そのものを掘り下げることを、辻村先生のお力添えのもと行うことがあります。統計学に興味がある方、プレゼンテーションのスキルを向上させたい方など、熱意ある皆様の入会を心よりお待ちしております。
3. 本ゼミ:火曜日4, 5限 サブゼミ:なし
4. 経済統計を用いたレポート作成、プレゼンテーション、教授・学生面接。成績表提出有。
5. 4年生(29期生):13人(男子8人、女子5人) (うち他学部0人、留学中または留学予定者0人)  
3年生(30期生):12人(男子9人、女子3人) (うち他学部0人、留学中または留学予定者0人)
6. 資金循環分析(春秋(三田)、火曜日3限)、経済統計(春秋(三田)、水曜日3限)
7. 外ゼミ代表 橋詰日菜子 sizhina78@gmail.com  
入ゼミ担当(代表) 小澤光市 koichi2459@gmail.com

## ●津谷典子研究会(人口論/可)

---

1. 人口論
2. 我が研究会では、人口研究・人口統計を様々な切り口から勉強しています。人口の増減、少子高齢化、死亡率の低下、そして人口変動にともなう社会経済発展などの主要トピックについて多変量解析を使った数理的な観点から、また経済成長・貧困・都市化・女性問題など、人口変動が関わる社会学的な観点から、幅広く学んでいます。3年時の春学期は、主に人口論に関する英語の文献を2人1組に分かれて輪読形式で発表し、秋学期以降は卒論に関する発表や執筆を行います。日本に限らず、世界各国の人口動態も研究対象として扱っているので、グローバルな人口変動やそれに従う社会問題に興味・関心のあるかたは是非おこし下さい。
3. 本ゼミ:水曜日3,4限 サブゼミ:なし
4. 英文要約試験(辞書持ち込み可)・教授面接・学生面接
5. 4年生(18期生):14人(男子:10人 女子:4人) (うち留学中1名)  
3年生(19期生):14人(男子:13人 女子:1人) (うち留学予定者2名)
6. 人口論 a,b(三田、春学期、月曜日 1,2限)
7. 外ゼミ代表 山田 建人 kento-yamada1120@outlook.jp  
入ゼミ担当 藤木 崇裕 takifujiki@yahoo.co.jp

## ●寺井公子研究会(制度・政策/可)

---

1. 公共経済学・政治経済学
2. 本研究会では主に公共政策を中心に学びます。経済政策や社会福祉政策など公共政策は多岐にわたりますが、当ゼミでは統計ソフト Stata の操作を学び、現下の諸問題について経済的な手法を用いた政策の分析を行います。3 年生は、春学期に社会保障制度など重要な政策分野の本を輪読し、秋学期以降は三田論執筆に向けて理論に基づき、データを用いて具体的な政策研究を進めていきます。公共政策は領域が幅広く、各人が関心のある研究テーマも多岐にわたると思いますが、公共政策に興味のある方はぜひブースへお越しください!!
3. 本ゼミ:水曜日 4、5 限 サブゼミ:月曜日 4 限
4. 論文提出、学生面接、教授面接、成績提出あり(参考程度)
5. 4 年生(4 期生):18 人(男子 13 人、女子 5 人) (うち他学部 1 人、留学経験者 1 人)  
3 年生(5 期生):17 人(男子 11 人、女子 6 人) (うち他学部 0 人、留学中 0 人)
6. 公共政策 a,b(三田、水曜日 3 限)
7. 外ゼミ代表 張田谷 魁人 haritayakaito@gmail.com  
入ゼミ担当(代表) 関谷 晴也 hattakinoishi@gmail.com

## ●土居丈朗研究会(制度・政策/可)

---

1. 政治経済学・公共経済学・財政学
2. 本研究会は財政・社会保障・税制などの経済政策を政治経済学的に考えることを目的としています。昨年度は財政・税制・地方・医療を題材に論文を執筆しました。土居先生は税制調査会委員、社会保障制度改革推進会議委員、行政改革推進会議委員、財政制度等審議会委員などを務めるなど日本の政治経済の第一線でご活躍されており、私たちの話や疑問に耳を傾け熱心にご指導して下さります。また本研究会はソフトボール大会や三田祭出店などにも全力で取り組んでいます。
3. 本ゼミ:火曜日 4,5 限、サブゼミ:木曜日 4,5 限、パートゼミ:パートごとに決定します(秋のみ)
4. 筆記試験(ミクロ経済学・マクロ経済学・英文和訳)、教授面接、成績表提出あり  
試験についての詳細は本研究会のホームページに記載しています。
5. 四年生(13 期生):22 人(男子 15 人、女子 7 人)  
三年生(14 期生):21 人(男子 11 人、女子 10 人)(うち商学部1名、留学予定 1 名)
6. 財政論 a・b(三田、木曜日1限)  
企業金融論 a・b(寄付講座)(三田、火曜日3限)
7. 外ゼミ代表 湯山 朝子 asakomoasna.yuyama@gmail.com  
入ゼミ担当 脇谷 康亮 doi.nyusemi2016@gmail.com

## ●直井道生研究会(都市経済学/可)

---

1. 都市経済学・応用ミクロ経済学
2. 私たち直井道生研究会は、慶應で唯一“都市経済学”を研究対象としているゼミです！4年目の新しいゼミなので皆でゼミの方向性を決めることができ、さらに教授も若くてとてもいい方です！ゼミでは、都市経済学と計量経済学の洋書を担当制で輪読して進めていきます。都市経済学を学ぶことはもちろん、論文作成で欠かせないデータ処理を学ぶことができます。皆さんにとっても身近な都市問題や応用的ミクロ経済学に興味がある方はぜひ直井道生研究会の説明会にお越しください！
3. 本ゼミ:月曜日4, 5限、サブゼミ:なし、パートゼミ:なし
4. 選考方法はミクロ経済学・英語のテスト、教授・学生面接です。成績表はあくまで参考
5. 4年生(3期生):14人(男子:9人、女子5人) (うち留学中2名)  
3年生(4期生):17人(男子:12人、女子5人) (うち他学部2名)
6. 都市経済論 a,b(三田、金曜日2限) 演習 a,b(三田、火曜日1,2限)、マクロ経済学初級 I(日吉、春学期、木曜日2限)、経済と環境(日吉、秋学期、水曜日1限)
7. 外ゼミ代表 味村 俊吾 [ajimuraz8@yahoo.co.jp](mailto:ajimuraz8@yahoo.co.jp)  
入ゼミ担当 野島 祥嗣 [nojisho0522@gmail.com](mailto:nojisho0522@gmail.com)

## ●長倉大輔研究会(計量経済/可)

---

1. 計量経済 Econometrics
2. 長倉ゼミは現在6年目を迎えています。3年時はまず講義形式で計量経済学の手法の理論的な側面を学び、次にそれらの手法をRという統計ソフトを用いて実際のデータに応用する演習を行います。長倉ゼミでは理論、応用のどちらにも興味がある学生も歓迎します。理論に興味のある学生は、経済データ分析のための新たな手法についての研究、応用に興味がある学生はファイナンス、マクロ経済、労働経済学、等の幅広い分野において(実際、応用分野は何でもよいです)興味のある問題の計量経済分析を行っています。
3. 本ゼミ:月曜 4, 5 限 サブゼミ:月曜 6 限
4. 統計・数学の試験、成績表、面接の総合評価
5. 4年生(5期生):11人(男子12人、女子0人)(うち他学部0人、留学中/留学予定者0人)  
3年生(6期生):10人(男子8人、女子2人)(うち他学部1人、留学中/留学予定者0人)
6. 計量経済学演習(春(三田)、火曜5限) 計量経済学演習(秋(三田)、火曜5限) 時系列分析 b(秋(三田)金曜3限) 統計学 I(春(日吉)、木曜2限) 統計学 II(秋(日吉)、木曜2限) STATISTICS 1(PEARL)(秋(日吉)木曜1限)
7. 外ゼミ代表、入ゼミ担当 東真彦 [masahiko060326@yahoo.co.jp](mailto:masahiko060326@yahoo.co.jp)

## ●中妻照雄研究会(金融/可)

---

1. 計量ファイナンス、ベイズ統計学、コーポレートファイナンス、データサイエンス
2. 当研究会はビジネスの世界で即戦力として活躍できる『高度金融人材』の輩出を目的としています。具体的には、デリバティブを活用したリスクヘッジ、不確実性下での最適な資産運用、M&A や資金調達など企業の不確実性下の意思決定、コンピュータを駆使した様々なデータの分析手法等を学んでいます。これらを、中妻教授が専門とするベイズ統計を用いた革新的なアプローチで研究することも可能です。また実社会で御活躍されている諸先輩方と交流する機会にも恵まれ、教科書では学べない実務的知識も得られます。
3. 本ゼミ:金曜日 4,5 限、パートゼミ:月曜日 4 限、金曜日 6 限
4. 昨年度は『成績表の提出』、『自身の将来のキャリアプランに関する学習計画表の提出』、『事前課題のプレゼンテーション』、『面接』によって選考を行いました。
5. 4 年生(12 期):9 人(男子:9 人)  
3 年生(13 期):14 人(男子:12 人、女子 2 人) (うち他学部 1 人、留学中 2 人、留学予定者 1 人)
6. ECONOMETRICS(計量経済学中級)(秋(三田)、火 1,2)、PROBABILITY AND STATISTICS(確率・統計)(春秋(三田)、木 1)、自由研究セミナー(春秋(日吉)、水 4)
7. 外ゼミ代表 窪倉 奏子 [kubokura13@gmail.com](mailto:kubokura13@gmail.com)  
入ゼミ担当 南 勇希 [yuki.minami33@gmail.com](mailto:yuki.minami33@gmail.com)

## ●中西聡研究会(経済史/可)

---

1. 日本経済史
2. こんにちは！私たち中西研究会では日本経済史を勉強しています。春学期は中西先生編の『日本経済の歴史』を輪読し、その後三田祭に出す論文の準備に取り掛かります。他大学とのインゼミも行っています。それと並行して年 4 回の楽しいフィールドワークもあります！また、この研究会はサブゼミやパートゼミがないため、サークル活動と資格勉強、体育会との両立も無理のない範囲で可能です。和やかな雰囲気の中西研究会に是非足を運んでください！
3. 本ゼミ:水曜 4・5 限 サブゼミ:なし
4. 選考内容:レポート、面接、成績表をもとに総合的に判断する。\*他学部志望者も同様
5. 4 年生 7 名(男 7 名、女 0 名)  
3 年生 7 名(男 7 名、女 0 名)
6. 日本経済史 a/b(三田、水曜日 3 限)歴史的経済分析の視点(日吉、金曜日 2 限)  
経済史入門 II(日吉、金曜日 2 限)
7. 外ゼミ代表 竹内宏 連絡先 [ihpsmerc@i.softbank.jp](mailto:ihpsmerc@i.softbank.jp)  
入ゼミ担当 安彦伊織 連絡先 [waffle1995@icloud.com](mailto:waffle1995@icloud.com)

## ●中村慎助研究会(理論経済/可)

---

1. 理論経済学・公共経済学
2. 本研究会では、ミクロ経済学・マクロ経済学等の理論経済学への理解を深め、その応用として経済政策論や財政論の基礎である公共経済学を学習しています。本ゼミでは PowerPoint とレジュメを用いた輪読を行っています。学部長である中村教授の鋭いご指摘や解説を通じ基本事項から丁寧に学ぶことが出来ます。サブゼミでは、自分たちで決めた文献の輪読と三田論に向けたグループワークを行います。自由度の高いゼミなので、サークルやバイト・資格試験など各々の活動との両立も可能です。教授との距離も近く、ゼミ生同士も仲のいいゼミです！ぜひ一度ブースへお越しください！
3. 本ゼミ:水曜日 4,5 限 サブゼミ:木曜日 2 限 パートゼミ:なし
4. A 日程ではミクロ経済学に関する試験と面接、成績表のコピーによる総合評価です。
5. 4 年生(22 期生):16 人(男子:13 人 女子:3 人)  
3 年生(23 期生):14 人(男子:9 人 女子:5 人)
6. ミクロ経済学初級 I (日吉・春学期・火曜日 2 限)
7. 外ゼミ代表 中島 未稀 miki4940.rarely@gmail.com  
入ゼミ担当 青柳 和希 nakamurashinsuke.seminar@gmail.com

## ●長谷川淳一研究会(都市計画/可)

---

1. 都市計画
2. 主に現代都市や都市計画を研究のテーマとして活動しています。昨年は東京の都市の発展と交通を主なテーマとして、様々な資料から研究をしました。先生はゼミ生の意見を尊重してゼミを進めてくださり、良い雰囲気です。
3. 本ゼミ:火曜日 4,5 限 サブゼミ:なし パートゼミ:なし
4. 試験内容:筆記試験(今期は都市計画法に関する論文についての問題)、教授およびゼミ員による面接、成績表提出あり 募集人数は5~10人 A 日程でこの人数に達すれば B 日程は行いません。
5. 4 年生(9 期生):7 人(男子:5 人、女子:2 人)  
3 年生(10 期生):4 人(男子:4 人、女子:0 人)
6. 経済史概論 I (日吉、月曜日 3 限)  
欧米経済史(三田、月曜日 1 限、火曜日 3 限)
7. 外ゼミ代表 山田浩太郎 008nothrow\_nolife37\_@ezweb.ne.jp  
入ゼミ担当 麻見雄介 yuzu1572iheiya@yahoo.ne.jp

## ●藤田康範研究会(制度・政策/可)

---

1. 応用ミクロ経済学
2. 月に1つ程度先生や外部の企業の方から与えられる課題について、5~6人のグループで取り組みます。課題の内容は経営戦略を考えるものが多く、現実に存在する問題を題材とした実践的訓練となります。課題の発表形式はプレゼンテーションから動画まで、様々です。先生、ご協力いただいた企業の方、ゼミ生に向けての発表を経験することになりますが、社会に出たら必要不可欠であるプレゼンテーション能力が驚くほど身に付きます。経済学そのものに関する授業が行われることはありませんが、課題を解決する上で必要な経済学、経営学の知識や考え方等は、必要に応じて先生にご享受いただきます。
3. 本ゼミ:水曜 4,5 限 サブゼミ:今年度は実施していません
4. 4冊の本の中から教材を1つ選びその教材に書かれた内容について問われる方式の試験
5. 4年生(16期):36人(男子11人、女子25人)(他学部5人、留学中/留学予定者2人)  
3年生(17期):25人(男子7人、女子18人)(他学部2人、留学中/留学予定者2人)
6. 経済政策のミクロ分析(春,秋(三田),月曜2限) 金融資産市場論(春,秋(三田),木曜3限) 自由研究セミナー(通年(日吉),月曜5限) 金融リテラシー(春(日吉),金曜5限)
7. 外ゼミ代表 鈴木麻理奈 [smarina1909@gmail.com](mailto:smarina1909@gmail.com)  
入ゼミ代表 志村七海 [sea0508\\_baseball.773@docomo.ne.jp](mailto:sea0508_baseball.773@docomo.ne.jp)

## ●藤原一平研究会(理論経済/可)

---

1. マクロ経済学・国際金融論
2. 本ゼミでは、①様々な経済現象の理論や実証を用いての説明、②四半期に一度の経済指標の変動の背景説明、③研究テーマ発表、などを行っています。さらに、月に一度程度、実社会でご活躍されている方に講演をしていただく機会も設けています。サブゼミでは、金融業についての輪読、時事問題に関する発表とディスカッションを行っています。親身になり、的確に指導して下さる教授と多彩なゼミ生と共に、自由な視点で勉強が行える藤原ゼミで充実したゼミ生活を送りませんか。
3. 本ゼミ:月曜日 4,5 限 サブゼミ:水曜日 4,5 限
4. 未定。昨年度は志望動機についてのレポート、面接、成績によって選考致しました。
5. 4年生(2期生):24人(男子13人、女子11人)(うち留学中3人)  
3年生(3期生):20人(男子10人、女子10人)(うち留学中1人/留学予定者3人)
6. マクロ経済学初級Ⅱ(秋(日吉)火1), ELEMENTARY MACROECONOMICS1 (PEARL)(秋(日吉)火2) ADVANCED MACROECONOMICS(秋(三田)火3), TOPICS IN MACROECONOMICS(秋(三田)火3), マクロ経済学中級Ⅰb(秋(三田)、月3), マクロ経済学演習(春秋(三田)、火4)
7. 外ゼミ代表 名前 野明千晴 [chiharun34@gmail.com](mailto:chiharun34@gmail.com)  
入ゼミ担当(代表) 江口崇之 [takayuki.eguchi0706@gmail.com](mailto:takayuki.eguchi0706@gmail.com)

## ●古田和子研究会(経済史/可)

---

1. アジア経済史 専攻:近代アジア経済史
2. 春学期での本ゼミではアジア経済史とは何かということを理解し基本的な知識を身につけるために、毎週教授から渡される論文の輪読を中心に行います。そしてその論文をもとに議論を展開しています。秋学期では3年生は三田祭論文に向けての活動がメインとなります。現在このアジア経済史という分野は非常に新しく、ここから深く研究される部分や研究へのアプローチの仕方など様々な余地を残している可能性の宝庫であり、自分ならではのアプローチ次第で道は無限に広がっていきます。新たな領域に参入して新たな切り口で物事を捉えることが可能な数少ない分野であると言えます。
3. 本ゼミ:月曜日 4,5 限 サブゼミなし
4. 現時点で予定されているA日程での選考方法:事前レポート,面接,成績
5. 3年生(18期生):12人(男子12人、女子0人)
6. アジア経済史 a,b(春秋、月曜2限)
7. 外ゼミ代表 小池 純平 jumjun1995@gmail.com  
入ゼミ担当 榎 聖矢 rowks7@gmail.com

## ●穂刈享研究会(理論経済/可)

---

1. ミクロ経済学. ゲーム理論
2. ミクロ経済学、ゲーム理論に関する簡単な講義と、文献の輪読を行います。輪読は、グループごとに分かれて生徒がプレゼンの形で教科書の内容を説明する、というものです。ここでは、ゼミ員は皆、和気藹々と取り組み、かつ先生からの鋭い指摘によってミクロ経済学について深く理解することができます。非協力・協力ゲーム理論はもちろんのこと、経済学の基礎的知識や数学についても多くのことを学ぶことができます。
3. 本ゼミ:火曜日 4・5 限 サブゼミ:なし
4. A 日程 5 名程度、B 日程 5 名程度、筆記試験(ミクロ経済学)、面接、成績表提出あり
5. 4 年生:8 人(男子 8 人、女子 0 人) (うち他学部 0 人、留学中または留学予定者 0 人)  
3 年生:10 人(男子 8 人、女子 2 人) (うち他学部 1 人、留学中または留学予定者 0 人)
6. 専門外国書講読(春(三田)火 3)、専門外国書講読(秋(三田)水 2)、  
Intermediate Micro Economics 1a(ミクロ経済学中級 1a)(秋(三田)火 3)、  
ゲーム理論 b(秋(三田)金 2)、経済思想の歴史Ⅱ(秋(日吉)、月 1)、  
自由研究セミナー(秋(日吉)、月 2)、ミクロ経済学初級Ⅱ(秋(日吉)、木 2)
7. 外ゼミ代表 田辺翼 tsubasa.wing11@icloud.com  
入ゼミ担当(代表) 田中俊輔 rits\_st@yahoo.co.jp

## ●星野崇宏研究会(計量経済・統計/可)

---

1. 統計学・行動経済学とその応用(マーケティング経営、ビッグデータ、社会現象)
2. 研究会ではまず基礎固めとして各人の関心に沿ってグループ単位で統計学と計量経済学、マーケティングや経営のための経済学、行動経済学や心理学などの基礎的な文献についての討議をします。また座学だけではなく、何らかのプロジェクトに参加することで学ぶ、オン・ザ・ジョブ・トレーニングが非常に有効だと考えています。そこで、マーケティングであれば東京周辺の様々な大学のマーケティング関連ゼミが参加する国内最大規模のインカレゼミ大会への参加、企業との共同企画開発の実施、計量経済学やデータサイエンスであればデータ解析コンペティション等への参加、行動経済学ならば実験室実験や調査の実施、店舗等リアルな場での実証実験など自分の関心にそうプロジェクト割り当てます。自分の関心に沿った内容を研究できる研究会です。
3. 本ゼミ:火曜日 3,4 限、サブゼミ:火曜日 5 限
4. レポート(A4、2 枚程度)、成績表提出。現時点で筆記テストの予定なし。
5. 3 年生(1 期生):13 人(男子:8 人、女子:5 人)  
4 年生(2 期生):17 人(男子:9 人、女子:8 人)
6. ベイズ統計学(春秋(三田)、火曜日 2 限)、計量経済学中級(春(三田)、水曜日 3,4 限)
7. 外ゼミ代表 会川智華 ring.on.you@gmail.com  
入ゼミ担当 杉溪大言 hirotokisugitani1@gmail.com

## ●細田衛士研究会(環境経済学/可)

---

1. 環境経済学
2. 環境経済学とは、環境保全と経済発展の両立を目指す経済学の一分野です。細田研究会ではプレゼン、輪読、論文執筆、フィールドワークなどを通じて多様な環境問題に対して、理解を深めています。またそれらの課題に対してグループワークを中心に取り組んでいくことで論理的に考える力、プレゼン力や教養力などを付けていくことを目標としています。その他に春学期に行うディベート活動を含め幅広い活動に取り組むことで主体的に考える力を身に着けることができる研究会です。
3. 本ゼミ:水曜日4, 5限 サブゼミ:金曜日4限 パートゼミ:5限
4. ①事前レポート ②筆記試験 ③教授、学生による面接 成績表提出有(参考程度)
5. 4年生(26期生):14人(男子:10人、女子4人) (うち留学中2名)  
3年生(27期生):10人(男子:8人、女子:2人)
6. 廃棄と汚染の経済学 a・b(三田、秋学期、水曜日1, 2 限)、経済と環境(日吉、春学期、水曜日1 限)、ENVIRONMENTAL ECONOMIC THEORY(PCP) (三田、秋学期、火曜日、2 限)
7. 外ゼミ代表 小杉 拓也 tntkdm1225@gmail.com  
入ゼミ代表 渡辺 航介 kou.398s@gmail.com



## ●前多康男研究会(金融/不可)

---

1. 金融経済学、マクロ経済学
2. 我が国の経済は、今まさに激動の時代にあります。中でも、金融の世界においては、情報技術の高度化、経済のグローバル化を受けて、目覚ましい進歩を遂げています。前多研究会では、ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学等あらゆる分野の経済学を総動員して金融の研究を深めていきます。経済学を駆使して金融分野の過去と現在の様々な現象を分析し、未来への課題とそれに対する自分なりの答えを見つけ出す醍醐味を味わってみたいと思います。
3. 本ゼミ:水曜日4, 5限 サブゼミ:なし
4. マクロ経済学の筆記試験、面接、成績表提出
5. 4年生(13期生):13人(男子8人、女子5人) (留学中1人)  
3年生(14期生):23人(男子15人、女子8人) (留学中1人)
6. マクロ経済学中級(春(三田)、月曜日3限)
7. 外ゼミ代表 小谷理佐子 risakota\_catact@yahoo.co.jp  
入ゼミ担当(代表) 原拓輝 hirokihara1995@gmail.com

## ●マッケンジー・コリン研究会(応用分析/可)

---

1. 欧州経済・日本経済・計量経済学
2. マッケンジー・コリン研究会ではヨーロッパ経済と日本経済について分析します。本研究会では、主に欧州経済に関するトピックに対し、経済理論(特にミクロ経済学と国際経済学)と計量経済学をベースとして、プレゼンやディスカッションを行いながら研究活動を進めていきます。すべての研究活動が英語で行われるため、英語力を併せて身につけることができますし、教授からの多様なアドバイスを基に自ら考える力を養うこともできます。興味を持たれた方は、是非ブースに足を運んでみて下さい!
3. 本ゼミ:水曜日 4, 5 限 サブゼミ:なし
4. 願書(英語のみ)と成績表、英語による教授面接と日本語による学生面接
5. 4年生(11期生):10人(男子:5人、女子5人)(うち留学中3名)  
3年生(12期生):12人(男子:7人、女子4人)(うち他学部1名、留学予定6名)
6. Applied Econometrics(PCP)(三田)、(春学期金曜日1限)
7. 外ゼミ代表 齋藤悠樹(さいとう ゆうき) h-y.saito@jcom.home.ne.jp  
入ゼミ担当 笠井里紗(かさい りさ) wanwan\_ronron\_06nchan@yahoo.co.jp

## ●松沢裕作研究会(経済史/可)

---

1. 日本社会史
2. 3年生になりゼミに入ると、まずは松沢准教授指定の図書を輪読する。本年度は、『横浜近郊の近代史 橘樹郡にみる都市化・工業化』を取り扱っている。また、同時並行して歴史史料を抜粋、読み込みし、少人数グループでの共同研究も行う。その後三田論を経て、3年生の終わりには自分で卒業論文の論点設定をすることになる。2年生に伝えたいのは、研究テーマが日本社会史に関係していれば非常に自由に論点を設定できるということである。自分の興味のあることが近代日本社会史の付近であればぜひこのゼミで研究してほしい。もし入ゼミしたら、経済学部で勉強した手法や理論とは異なる現実の複雑さを、当時の一次資料をもとに解明していくことに、興味をもって取り組んでほしいと思う。
3. 本ゼミ:火曜日 4,5 限 ゼミ必修授業:金曜日 2 限
4. 指定図書の要約と考察(4000字程度)、成績表提出有、松沢准教授との面接
5. 4年生:8人(男子のみ) (他学部なし)  
3年生:10人(男子のみ) (他学部なし)
6. 三田 春・秋 金曜 2 限 日本史史料購読、日吉 春 水曜 2 限 歴史的経済分析の視点
7. 外ゼミ代表 名前 河上 航 メールアドレス w.dg0904.did@gmail.com  
入ゼミ担当 名前 宮坂 航一郎 メールアドレス miyasaka343@gmail.com

## ●三嶋恒平研究会 (産業・労働経済/可)

---

1. 工業経済学・国際経営学・中小企業論
2. 本研究会では、工業経済、新興国、企業戦略、イノベーションに関する実態と歴史と理論の3点のバランスのよい理解を目指しています。本ゼミでは、前記の学問の基礎を学び、サブゼミでは企業に足を運び経営者の方々にインタビューを行うフィールドワークを中心に進めています。日本だけでなく、長期休みには新興国(タイ)にてフィールドワークを行う予定です。また、テーマに応じて先行研究の調査も行います。活動内容は濃く忙しいため、ゼミに時間を割ける方をお待ちしております。
3. 本ゼミ:火曜日4・5限、サブゼミ:金曜日4・5限
4. 面接・課題図書に関するレポート・成績表提出あり
5. 4年生(3期生):14人(男子:6人、女子:8人)  
3年生(4期生):14人(男子:10人、女子:4人)
6. 工業経済論(三田、通年、火曜日2限)
7. 外ゼミ代表 池上太悟 ikegami.daigo@keio.jp  
入ゼミ担当 後藤佑友 gt0.yuyu@gmail.com

## ●宮内環研究会 (計量経済/可)

---

1. 市場の数量分析
2. 当研究会を志望する学生諸君は、三田にくる前に日吉で学んだ科目の内容をしっかりと復習し、自分のものにしておいてください。これまでは解くべき問題と正解が与えられることが多かったでしょう。しかし三田の研究会では自分が解くべき問題を見つけ、自分が持っている知識をどのように適用すれば知りたいことが分かるのか、そのためにはその問題への接近法は何が適切なのか、このように考える作法を三田の研究会では学びます。そのためには日吉で学んだ科学的知識が確かなものでなくてはなりません。その準備を来年の4月までにしっかりと整えておいてください。
3. 本ゼミ(火曜4・5限)、サブゼミ・パートゼミ(火曜6限)
- 4 事前レポート、志願書および成績表による書類審査
5. 3年生 10名(男9名、女1名)(留学中0名)  
4年生 12名(男10名、女2名)(留学中0名)
6. 計量経済学概論(日吉、秋学期、金4)自由研究セミナーa,b(日吉、金3)社会科学基礎論 a,b(三田、火3)演習(三田、春学期、)計量経済学上級 b(三田、秋学期、金1)
- 7 外ゼミ代表 榎本 将太 連絡先:syouta079@yahoo.co.jp  
入ゼミ代表 杉本 祥一 連絡先:sugi.iykk48@gmail.com

## ●山田篤裕研究会(制度・政策/可)

---

1. 社会政策(労働政策・社会保障・福祉)
2. 社会を取り巻く様々な問題を解決するのが社会政策です。当研究会では、エビデンス(根拠)に基づく適切な社会政策提言を目指し、講義・輪読等で政策・理論を、演習でデータ分析手法を学び、その上で論文を執筆します。教員の「落ちこぼれを出さない」という方針の下、毎回充実した密度の濃い指導を受けることができます。輪読では、教員やゼミ員自ら準備した論点を議論し理解を深めています。何となくこの分野に関心がある学生から研究者・公務員志望の学生まで幅広く歓迎します。
3. 本ゼミ:水曜日 4,5 限、サブゼミ:火曜日 4,5 限
4. 小論文、指定文献に関する簡単な口頭試問、成績表提出あり
5. 4年生(8期生):22人(男子:18人、女子4人)(うち留学中1名)  
3年生(9期生):19人(男子:10人、女子9人)
6. 演習 a,b(三田、春、火曜日 1,2 限)社会政策論 a,b(三田、春、火曜日 3 限)生活保障の再構築(三田、秋、水曜日 2 限)
7. 外ゼミ代表:堀口翔太、入ゼミ担当:中川りさ子 yamada.seminar2017@gmail.com (共通)

## ●山田浩之研究会(開発経済学/可)

---

1. 開発経済学
2. 2015年から新規ゼミとして始まったこの研究会は、今年度2期目をむかえます。本ゼミ、サブゼミを通じて、開発経済学と計量経済学を中心に学んでいます。本ゼミでは計量経済学の輪読、サブゼミでは、開発経済学の輪読や stata の演習などを行っています。早稲田の開発経済学ゼミとのインゼミや、バングラデシュでの合宿、ディベートも行う予定です。山田先生は国際機関での経験が豊富なので、興味深い話をたくさん聞けます。また、優しくゼミ生の相談にもものってくださいます。少人数制で男女仲良く、何事にも全力で取り組むとても楽しいゼミです。興味がある方はぜひ個別ブースに来てください！
3. 本ゼミ:水曜日 4,5 限 サブゼミ:水曜日 6 限、金曜日 4,5 限(本年度の場合)
4. レポート課題、面接、成績表
5. 4年生(1期生):8人(男子7人、女子1人) (うち他学部0人、留学中1人)  
3年生(2期生):9人(男子4人、女子5人) (うち他学部0人、留学予定者3人)
6. AID AND DEVELOPMENT(PCP) (春(三田)水3),開発経済学 a(春(三田)金2)DEVELOPMENT ECONOMICS (春(三田)金3),DEVELOPMENT PROGRAM EVALUATION IN DEVELOPING COUNTRIES (PCP) (秋(三田)水3)開発経済学 b(秋(三田)金2)
7. 外ゼミ代表 木村真里亜 maria.10.precious@gmail.com  
入ゼミ担当 犬飼あゆ美 inukai-ayumi@keio.jp

## ●Professional Career Program(英語による経済学/可)

---

1. 英語による実践的な経済学
2. PCP は経済学部設置の少人数制プログラムです。将来のキャリア形成に役立つ実践的な経済学教育を全て英語で提供します。指定された専門科目から、学生が興味のある科目を選択して学ぶと同時に、グループ・個人でプレゼンテーションを行う科目も履修します。留学生も多く履修するインタラクティブな講義が多いので、強い意欲を持った学生を歓迎します。
3. 講義要綱をご覧ください。
4. 3年次春学期(2017年度以降)または4年次春学期(2018年度以降)開始時のどちらでも選考に応募することができます。2017年度春学期にPCP参加を希望する新3年生については、参加申込書、成績表、語学テストのスコア(TOEFL iBT 79点以上またはIELTS6.5点以上)による書類選考を行います。
5. 4年生(11期生):28人(男子12人、女子16人) (他学部1人、留学中/留学予定者4人)  
3年生(12期生):49人(男子35人、女子14人) (他学部3人、留学中/留学予定者15人)
6. 随時行っているオープンクラスはPCPホームページ<応募者向け情報>にてご確認ください。
7. 外ゼミ代表 清水咲蓉子 sayokokshimizu@gmail.com  
入ゼミ担当(代表) 高樋葉 shiori.takatoi@yahoo.com

## ●研究プロジェクト

---

1. 経済学に限らず、自分が興味のある学問・分野。他学部生の履修は経済学部生との共同研究に限る。
2. 当カリキュラムは、研究意欲のある学生に対して、一年間かけて研究を行い、学術論文の執筆、研究発表の機会を提供します。授業は、教諭から自らの研究の助言を貰う超少人数制の指導と、受講者全員で論文の書き方や研究発表の方法等を学ぶ講義から成ります。意欲や自己管理能力求められますが、自らの興味に基づく研究を教授に一对一でサポートして貰える貴重な機会です。意欲のある学生は是非受講を検討してください。PCP や研究会との両立も可能です。
3. 授業：研究プロジェクト a・b は週 1（日時や頻度は指導教授と相談して決定）  
研究プロジェクト C は年 5～6 回、土曜 3・4 限（受講者全体の授業：主に日吉）
4. 受講方法：10 月または 3 月において受講申請書により総合的判断
5. 受講者数：14 人
7. コーディネーター問い合わせ先 [kpro-group@keio.jp](mailto:kpro-group@keio.jp)  
TA 問い合わせ先 [kpro\\_ta-group@keio.jp](mailto:kpro_ta-group@keio.jp)

個別ブース配置図 「教室(収容人数)テーマゼミ名」で表記

4階		D406(56) <u>金融</u> 伊藤・小林 中妻	D410(78) <u>制度・政策</u> 金子・寺井 土居	
	D402(28) <u>金融</u> 前多	D405(28) <u>行動経済学</u> 大垣		D412(110) <u>産業・労働</u> 太田(聡) 駒村・三嶋
		D404(52) <u>金融</u> 新井 櫻川	D408(58) <u>制度・政策</u> 藤田・山田(篤)	
			D407(58) <u>産業・労働</u> 赤林・植田	
3階	D303(56) <u>開発経済</u> 大平 山田(浩)	D306(56) <u>計量経済</u> 河井 田中	D309(78) <u>理論経済</u> 玉田・須田 坂井	D312(78) <u>理論経済</u> 藤原・穂刈 中村
	D302(28) <u>経済地理</u> 河端	D305(28) <u>経済地理</u> 武山		D311(110) <u>理論経済</u> 石橋・大西 尾崎・塩澤
	D301(52) <u>計量経済</u> 辻村 長倉		D307(110) <u>国際経済</u> 秋山・嘉治 木村	D310(110) <u>国際経済</u> 大久保・駒形 白井・竹森
2階	D202(150) <u>計量経済</u> 星野・宮内 <u>都市経済</u> 直井 <u>応用分析</u> マッケンジー	D101(510) PCP <u>政策研究</u> 北尾 <u>都市計画</u> 長谷川 <u>医療経済</u> 井深 <u>財政社会学</u> 井手	D204(56) <u>経済学史・思想</u> 坂本 池田 高草木	D206(48) <u>環境経済</u> 大沼 細田
	D201(150) <u>経ゼミ</u> <u>全塾ブース</u> (本部)			D205(256) <u>経済史</u> 飯田, 崔, 松沢, 古田 中西, 大田(淳), 川俣



Keio University

